DITシリーズ

ベッドサイド情報端末

DIT-2000シリーズ
ユーザーズマニュアル

株式会社コンテック

梱包内容をご確認ください

このたびは、本製品をご購入いただきまして、ありがとうございます。
本製品は次の構成となっています。
構成品リストで構成品を確認してください。万一、構成品が足りない場合や破損している場合は、お買い求めの販売店、または総合インフォメーションにご連絡ください。登録カードは、新製品情報などをお客様にお知らせする際に必要なカードです。ご記入の上、必ずご返送くださいますようお願いします。

■構成品リスト

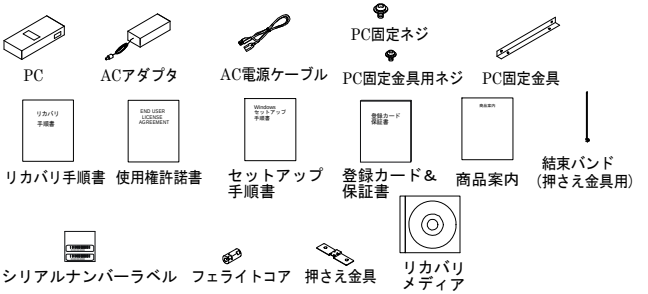
	コントローラ DIT-2000-DC6114	モニター DIT-2000W18A	接続ケーブル DIT-2000-CBLxx *2
名称	数量	数量	数量
PC	1	-	-
モニター	-	1	-
AC アダプタ本体	1	-	-
AC 電源ケーブル *1	1	-	-
PC 固定ネジ	4	-	-
PC 固定金具用ネジ	4	-	-
PC 固定金具	2	-	-
リカバリ手順書	1	-	-
使用権許諾書	1	-	-
セットアップ手順書	1	-	-
登録カード&保証書	1	1	-
商品案内	1	1	-
PC-モニター接続ケーブル	-	-	1
リカバリメディア	1	-	-
VESA 取り付けネジ	-	4	-
シリアル No.ラベル	1	1	-
フェライトコア	1	-	-
結束バンド(フェライトコア固定用)	-	2	-
押さえ金具	1	-	-
結束バンド(押さえ金具用)	2	-	-

*1： 添付のAC電源ケーブルはAC100V用です。使用される電圧やコンセント形状によっては適合するケーブルを別途ご用意していただく必要があります。また、同梱のACアダプタ以外で使用することはできません。

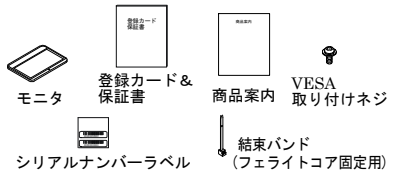
*2： ケーブル長は0.5m、1.5m、2.5mの3種類を用意しております。

■構成品イメージ

- DIT-2000-DC6114[OS プリインストールモデル]



- DIT-2000W18A



- DIT-2000-CBLxx

※構成品の有無、数量は構成品リストを参照ください。

ご注意

(1) 本書の内容の全部、または一部を無断で転載することは禁止されています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店へご連絡ください。
(4) 本製品の運用を理由とする損失、逸失利益などの請求につきましては、前項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
(5) AMD, ATIはAMD Corporationの登録商標です。Microsoft WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。AMIはAMI Software International, Inc.の登録商標です。その他、全ての製品名及び商標は、各社の所有物です。

目次

梱包内容をご確認ください i
目次 iii

第１章 はじめに 1

概要 1
◆特長 1
◆対応OS 2
サポートのご案内 2
◆ホームページ 2
◆総合インフォメーション(お問い合わせ窓口) 2
◆修理窓口 3
◆製品貸出サービス 3
◆各種セミナー 3
◆システム受託開発、OEM受託 3
安全にご使用いただくために 4
◆安全情報の表記 4
◆使用上の注意 4
◆対応無線LAN規格について 4
◆セキュリティに関する注意事項 5
◆DIT-2000シリーズの注意事項 6

第２章 システムリファレンス 9

仕様 9
電力に関する要求 11
外形寸法 12

第３章 ハードウェアのセットアップ 15

ご使用にあたって 15
ハードウェアのセットアップ 16
◆PC - モニター接続ケーブルの接続 16
◆電源ケーブルの接続 19
◆設置条件 20

第４章 各部の名称および機能 23

各部の名称 23
各部の機能 25
◆モニターON/OFF : FRONT PWR SW 25
◆DC電源入力コネクタ : DC-IN 25
◆PC電源スイッチ : POWER SW 25

◆ヘッドホン出力インターフェイス: LINE OUT 25
◆カメラ: CAMERA 26
◆マイク : MIC 26
◆ギガビットイーサネット:LAN 27
◆USBポート: USB 27
◆外部モニター出力：DVI-I 28
◆モニター接続用コネクタ：LVDSおよびDC-OUT 28

第５章 RFIDの操作 29

第６章 BLUETOOTHの操作 31

◆デバイスの登録 31
◆デバイスの接続、切断、削除 33

第７章 モニターLED、I/Oボタン 35

◆IO-Lib 35
◆I/Oのアクセス仕様一覧 40

第８章 タッチパネル 41

◆キャリブレーション 41
◆その他の設定 44

第９章 無線LANの設定 47

第１０章 BIOSセットアップ 49

概要 49
◆セットアップの開始 49
◆セットアップの操作 49
◆ヘルプの確認 49
◆問題発生時 50
◆注意事項 50
メインメニュー 51
Advanced 52
◆ACPI Settings 53
◆CPU Configuration 54
◆EUP Power Saving Contoroller 55
◆IDE Configuration 56
◆USB Configuration 57
◆Super IO Configuration 58
◆H/W Monitor 59
Chipset 60
◆North Bridge 61
◆GFX Configuration 62
◆Memory Configuration 63
◆South Bridge 64

◆SB SATA Configuration 65
◆Boot 66
Security 67
Save & Exit 68

第１１章 付録 69

第１章 はじめに

概要

本製品は、ディスプレイとコントローラに分かれた分離型の情報端末です。ディスプレイには、マルチタッチ対応の18.5型ワイド液晶ディスプレイを採用のほか、無線LAN、Bluetoothなどのヒューマンインターフェイスを搭載し、アームやスタンドへの取り付けが可能です。コントローラにはグラフィックス重視のAMD Fusion APUを採用し、USB、Gigabit LANを搭載しています。

RFID(NFC)機能を使用するアプリケーションを構築することにより、患者自身のID認証や電子マネーによる課金システムの用途に利用できます。また、タッチパネルによる簡単操作やWebカメラを用いることでお年寄りの方と医療機関をつなぐ在宅による介護医療のコミュニケーションツールとしても利用できます。

◆特長

■ヒューマンインターフェイスとコントローラを分離したセパレート構造でスマートな設置が可能

ヒューマンインターフェィスとコントローラを専用ケーブルで接続する分離タイプ。VESA規格(100×100)に対応し、さまざまなアームやスタンドに取り付けが可能です。

■パソコン用のアプリケーションが使用可能

組み込み機器用OSの Windows Embedded Standard 7を搭載。パソコン用ソフトの開発環境で、食事のメニュー表示、売店注文などの病院向けアプリケーションを構築できます。

■マルチタッチに対応した液晶ディスプレイで楽々操作

長寿命・省電力LEDバックライトを採用した18.5型ワイドの液晶ディスプレイ(マルチタッチ対応)を搭載。画面にタッチして簡単に操作できるので、コンピュータの苦手な方でも安心してご利用いただけます。

■CPUにAMD Fusion APUを採用した高性能グラフィックス

グラフィックス重視のアプリケーションに最適なAMD GシリーズAPU T56Nを採用し、動画再生や3D映像の表示をスムーズに行えます。

■RFID(NFC)を搭載。ID認証やカードによる課金システムなどの用途に使用可能

ヒューマンインターフェィス部分にRFID(NFC)を搭載。アプリケーションを構築することで、患者自身のID認証やカードによる課金システムなどの用途に使用できます。

■IEEE802.11n/b/g準拠の無線LAN、Bluetoothを標準搭載

無線LANはIEEE802.11n/b/g規格に準拠し、アンテナはコントローラに内蔵。美観を考慮した設計となっています。

■周辺機器を自在に拡張可能。

1000BASE-T×2、USB2.0×4、オーディオ AC97 などの拡張インターフェイスを搭載。コントローラ部分には外部出力用の DVI コネクタを設けており、マルチディスプレイとしてご利用いただけます。

◆対応OS

・ Windows Embedded Standard 7(日本語版)

サポートのご案内

当社製品をより良く、より快適にご使用いただくために、次のサポートを行っております。

◆ホームページ

日本語	http://www.contec.co.jp/
英語	http://www.contec.com/
中国語	http://www.contec.com.cn/

■最新製品情報

製品の最新情報を提供しています。
また、PDFファイル形式の製品マニュアル、各種技術資料なども提供しています。

■無償ダウンロード

最新のドライバソフトウェア、差分ファイルをダウンロードできます。
また、各種のサンプルプログラムもダウンロードできます。

■資料請求

カタログの請求が行えます。

■製品貸出サービス

製品貸出の依頼が行えます。

■イベント情報

当社主催/参加のセミナーおよび展示会の紹介を行っています。

◆総合インフォメーション(お問い合わせ窓口)

■技術的なお問い合わせ

当社製品に関する技術的なお問い合わせは、総合インフォメーションで受け付けています。
E-mail(tsc@contec.jp)またはFAX*1でお問い合わせください。専門のスタッフが対応します。
製品添付、添付CD内またはホームページ(http://www.contec.co.jp/support/contact/)にあるQuestion用紙に必要事項を記入の上、お送りください。

*1 FAX番号はQuestion用紙に記載されています。

■その他の製品情報のお問い合わせ

製品の価格・納期・見積もり依頼などのお問い合わせは、販売店または当社各支社・営業所までお問い合わせください。

◆修理窓口

修理の依頼は、お買い求めの販売店経由で受け付けています。
保証書に記載の条件のもとで、保証期間中に製品自体に不具合が認められた場合は、その製品を無償で修理または交換いたします。
保証期間終了後、または保証条件外での修理は、有償修理となりますのであらかじめご了承ください。
なお、対象は製品のハードウェア部分の修理に限らせていただきます。

◆製品貸出サービス

製品を評価・理解していただくため、製品の貸出サービスを行っております。
詳細は、当社ホームページをご覧ください。

◆各種セミナー

新製品の紹介・活用方法、システム構築のための技術習得など、各種セミナーを行っております。
出張プライベートセミナーも承ります。詳細は、当社ホームページをご覧ください。

◆システム受託開発、OEM受託

ソフトウェア/ハードウェアの導入方法やシステム構築のご相談、お客様オリジナル・デザインのシステムを製品化し供給するODMやOEMのご提案を行います。
詳しくは、E-mail(sales@contec.jp)または当社各支社・営業所までお問い合わせください。

安全にご使用いただくために

次の内容をご理解の上、本製品を安全にご使用ください。

◆安全情報の表記

本書では、人身事故や機器の破壊をさけるため、次のシンボルで安全に関する情報を提供しています。内容をよく理解し、安全に機器を操作してください。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

◆使用上の注意

本製品は、電波法における「小電力データ通信システムの無線局の無線設備」であり、無線免許は必要ありません。本製品の内部を改造することは法律で禁止されています。また、本製品は、国内の電波法により認定されたもので、海外ではご使用になれません。

◆電波干渉に関する注意

本製品が使用する2.4GHz帯域では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに使用周波数を変更するか電波の発射を停止した上、総合インフォメーションまでご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、総合インフォメーションまでお問い合わせください。

◆対応無線LAN規格について

本製品はIEEE802.11n/b/gに準拠しています。

IEEE802.11b/g/n

◆セキュリティに関する注意事項

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
- コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LAN機器は、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていません。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LAN機器をご使用になる前に、必ずセキュリティに関するすべての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、総合インフォメーションまでお問い合わせください。

お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

◆DIT-2000シリーズの注意事項

■取り扱い上の注意

⚠ 警告

- 電源ケーブルの取り付け、取り外しは必ず電源が供給されていないことを確認してから行ってください。
- 人命または重大な損害を伴う恐れのある処理を、タッチパネルによる操作で行わないでください。
- 本製品の改造は行わないでください。
- 各ボード、ケーブルの抜き差しは必ず電源を切ってから行ってください。
- 本製品は航空、宇宙、原子力、生命維持のための医療機器など、高度な信頼性が必要な用途への使用を想定していません。これらの用途には使用しないでください。
- 本製品を列車、自動車、防災防犯装置など安全性に関わる用途にご使用の場合、お買い求めの販売店または当社総合インフォメーションにご相談ください。
- 不適切なバッテリの交換は爆発の危険がありますので行わないでください。
- バッテリの交換が必要な場合は修理となりますので、販売店または当社各支店・営業所までお問い合わせください。
- 使用済みバッテリを廃棄される場合には自治体の指示に従って適切に廃棄してください。

⚠ 注意

- 仕様の範囲を越える高温下や低温下、または温度変化の激しい場所での使用および保管はしないでください。
  例　　・直射日光の当たる場所　　・熱源の近く
- 極端に湿気の多い場所や、ほこりの多い場所での使用および保管はしないでください。内部に水や液状のもの、導電性の塵が入った状態で使用すると非常に危険です。このような環境で使用するときは、防塵構造の制御パネル等に設置するようにしてください。
- 仕様の範囲を越える衝撃や振動の加わる場所での使用および保管は避けてください。
- 強い磁気や雑音を発生する装置の近くで使用しないでください。本製品が誤動作する原因となります。
- 薬品が発散している空気中や､薬品にふれる場所での使用および保管は避けてください。
- 本製品の汚れは､柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く拭いてください｡ベンジン、シンナーなど発揮性のものや薬品を用いて拭いたりしますと、塗装の剥離や変色の原因となります。なお、液晶面については水または中性洗剤を含ませて軽く拭いた後に、乾いた布で水分を取り除いてください。水滴などが付いたまま、使用するとマウス誤動作などが起こる場合があります。
- いかなる原因によっても当社ではHDDの記録内容に関する保証は負いかねます。
- 本製品の電源はファイルの破損を防ぐため、必ずOS終了後に切ってください。
- 本製品を改造したものに対しては、当社は一切の責任を負いかねます。
- 故障や異常(異臭や過度の発熱)に気づいた場合は、電源コードのプラグを抜いて、お買い求めの販売店または当社総合インフォメーションにご相談ください。
- 周辺機器との接続ケーブルは、接地されたシールドケーブルを使用ください。
- シャープペンシルなどの先の鋭利なもので、タッチパネルを操作しないでください。
  キズの原因になったり、誤動作する恐れがあります。
- タッチパネルに衝撃を加えないでください。破損の恐れがあります。
- タッチパネルの表面および筐体が汚れた場合は、中性洗剤で拭き取ってください。
  シンナー、アンモニア、強塩化系の溶剤で拭かないでください。
- タッチの検出位置がずれてきた場合はタッチパネルのキャリブレーションを再度実行し、キャリブレーションデータを再設定してください。
- 液晶表示機には僅かな常時点灯の輝点や常時消灯の滅点が生じる場合があります。また、見る角度によって色むらを生じる場合がありますがこれは液晶ディスプレイの構造によるもので故障ではありません。
- 焼き付きについて
  同一画面を長時間表示していると「焼き付き*」が生じる場合があります。焼き付きを防ぐには、表示画面を周期的に切り替えて、同一画面を長時間表示しないようにしてください。
  * 焼き付き･･･同一画面を長時間表示すると、TFT表示機の特性として、パターンを替えた後も液晶素子に電荷が残り、薄く表示が残る現象

  著しくノイズが発生するような環境では、RFID、オーディオなどの機能が、一時的に正常動作しない場合があります。この際には、一度ご利用のソフトウェアの再立ち上げもしくはシステムの再起動を行ってください。
- PC-モニター接続ケーブルを通電中に挿抜しないで下さい。製品故障の恐れがあります。

・ 構成部品の寿命について

(1)バッテリ･･･　内部カレンダ時計、CMOS RAMのバックアップにリチウム一次電池を使用しています。
無通電時のバックアップ時間は25℃において7年以上です。

(2)バックライト･･･バックライト定格寿命は、30,000時間です。
※周囲温度25℃±5℃、最大輝度設定、初期輝度の50%まで低下

(3)タッチパネル･･･打点寿命は3,500万回以上です。

* 消耗部品の交換につきましては修理扱い(有償)にて対応させていただきます。

* 消耗品の解析調査はできかねます。あらかじめご了承ください。

* 消耗部品の寿命については参考値であり、保証するものではないことをご了承ください。

VCCI クラスB注意事項

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

第２章 システムリファレンス

仕様

表2.1 機能仕様

型式		DIT-2000-DC6114 DIT-2000W18A
取り付けタイプ		VESA取り付け(100×100mm)
CPU		AMD Gシリーズ　Dual Core APU Fusion T56N 1.65GHz
チップセット		AMD A55E
BIOS		AMI製BIOS
メモリ		2GB(204ピンSO-DIMMソケットx1)　DDR3-1066 DDR3 SDRAM
グラフィック	コントローラ	ATI RADEON HD6320(T56N内蔵)
表示方式	液晶パネル	18.5インチTFTカラーLCD, WXGA(1,366×768), 1,677万色
	バックライト	LED方式
タッチパネル	分解能	4,096×4,096(1,366×768でエミュレーション)
	検出方式	投影型静電容量タイプ
オーディオ		AC97準拠、ライン出力×2、マイク入力×1(モニター部に搭載)
ストレージ		250GB　1パーティション(2.5インチHDD実装済み) *1
LAN		Realtek 8111E コントローラ(Wake On Lan対応) 2ポート 1000BASE-T LAN /100BASE-TX/10BASE-T(RJ-45コネクタ)
無線LAN		IEEE802.11n/b/g準拠 無線LAN
USB		USB 2.0準拠 4ポート(コントローラ部2ポート、モニター部2ポート)
RFID		ISO15693、ISO14443 TypeA、FeliCa対応
Bluetooth		Bluetooth対応機器と接続可能
Webカメラ		1.3mpx
ステータスLED		Red/Green
I/Oボタン		モニター前面に搭載
外部ディスプレイ		DVI-Iを外部開放。最大表示解像度 ：1920x1080
リアルタイムクロック		A55E内蔵、精度(25℃)：±3分/月、リチウム電池バックアップ寿命 ：7年以上
電源	定格入力電圧	12VDC±5% *2
	消費電力	7A(Max.)
	外部機器供給電源容量	USBポート ：+5VDC 2A(1スロット当り500mA)
取り付けタイプ		VESA取り付け(100×100mm) *3
外形寸法(mm)		コントローラ部　：300(W)×123(D)×58(H) モニター部　：452(W)×36(D)×335(H)
質量		コントローラ部 ：2.0kg モニター部　：3.5kg

*1： 容量は、1GBを10億Byteで計算した場合の値です。OSから認識できる容量は、実際の値より少なく表示される場合があります。

*2： ACアダプタは必ず本機に付属のものをお使いください。他のACアダプタは使用しないでください。

*3： モニター DIT-2000W18Aの場合です。

表2.2　環境仕様

型式		DIT-2000-DC6114 DIT-2000W18A
使用周囲温度		0 - 35℃
保存周囲温度		-10 – 60℃
周囲湿度		10 – 80%RH(ただし、結露しないこと)
浮遊粉塵		特にひどくないこと
腐食性ガス		ないこと
耐ノイズ性	静電耐久	接触/±4kV (IEC61000-4-2 Level 2, EN61000-4-2 Level 2) 気中/±8kV (IEC61000-4-2 Level 3, EN61000-4-2 Level 3)
耐振動性		掃引 ：10 - 57Hz/0.075mm(片振幅) 掃引 ：57 - 150Hz/9.8m/s2(1G) 1oct/min、1サイクル(10-150-10Hz) XYZ3方向の5サイクル(各40分)

表2.3　ACアダプタ仕様

型式		DIT-2000-DC6114 DIT-2000W18A
ACアダプタ	定格入力電圧範囲	100 - 240VAC(連続入力)、50 - 60Hz
	入力電圧許容範囲	90 - 264VAC(連続入力)、50 - 60Hz
	入力電流	1.3A Max.(AC IN 115V)
	定格出力電圧	+12VDC±5%
	定格出力電流	7A(Max.)
	許容瞬時停電	20ms以下
	寿命　*1	20,000H (周囲温度25℃、最大負荷時) 64,000H (周囲温度25℃、定常負荷時) *2

*1　寿命は参考値であり、保証する値ではありませんことをご了承ください。

*2　OS起動後、ソフトウェアが特に動作しない状態

表2.4　無線LAN仕様

型式		DIT-2000-DC6114
ユニットタイプ		ステーション
対応規格		IEEE802.11n, IEEE802.11b, IEEE802.11g
IEEE802.11n		
	チャネル	2.4GHz帯 ：13ch (1 - 13)
	データ転送速度 *4	150 - 65Mbps[MSC0 - 7, Short/Long GI]
IEEE802.11b		
	チャネル	13ch (1 - 14)
	データ転送速度 *4	11, 5.5, 2, 1Mbps
IEEE802.11g		
	チャネル	13ch (1 - 13)
	データ転送速度 *4	54, 48, 36, 24, 18, 12, 9, 6Mbps

*4： 無線LAN規格の理論値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

表2.5 ディスプレイ光学仕様

項目	条件			最小	標準
視角(上下)	CR＞10	ϕ = 180°	表示 白/黒	70deg	85deg
		ϕ = 0°		70deg	85deg
視角(左右)		ϕ = +90°		60deg	75deg
		ϕ= 270°		70deg	85deg
表面輝度(中央部)	表示 白			200cd/m²	250cd/m²

* 表面輝度は、ディスプレイ単体での数値です。タッチパネルを通した輝度は、上記の80%程度の数値となります。

$$\text{コントラス比 (CR)} = \frac{\text{白色表示の画面中央輝度}}{\text{黒色表示の画面中央輝度}}$$

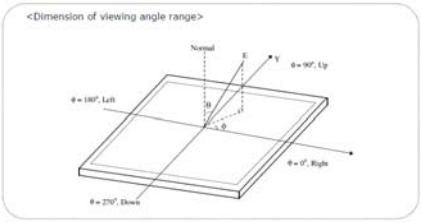


図2.1 視角範囲の定義

⚠ 注意

光学仕様のデータは、本機搭載液晶の光学的特性であり、実際の見え方や視野角とは異なります。

電力に関する要求

本製品への電源は、必ず添付のACアダプタを使用してください。

外形寸法

■コントローラ

DIT-2000-DC6114 (PC固定金具取り付け時)

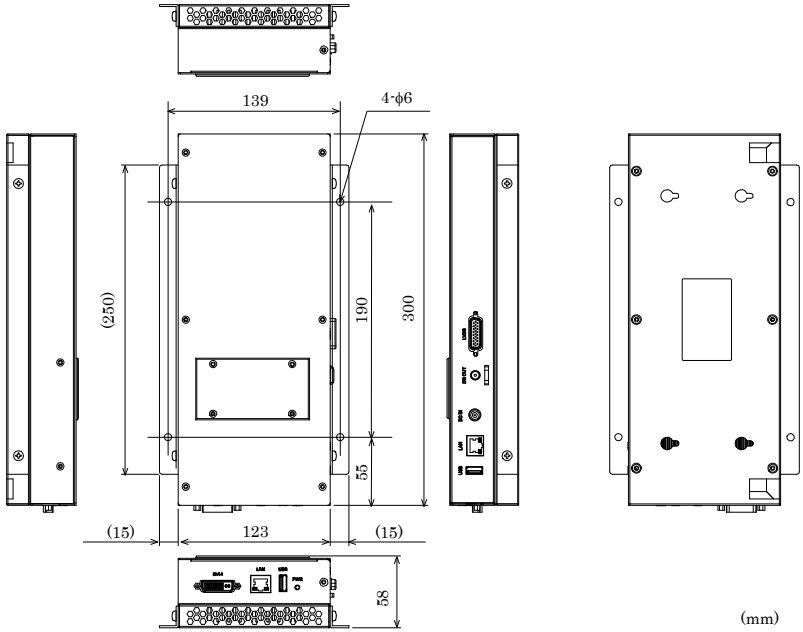
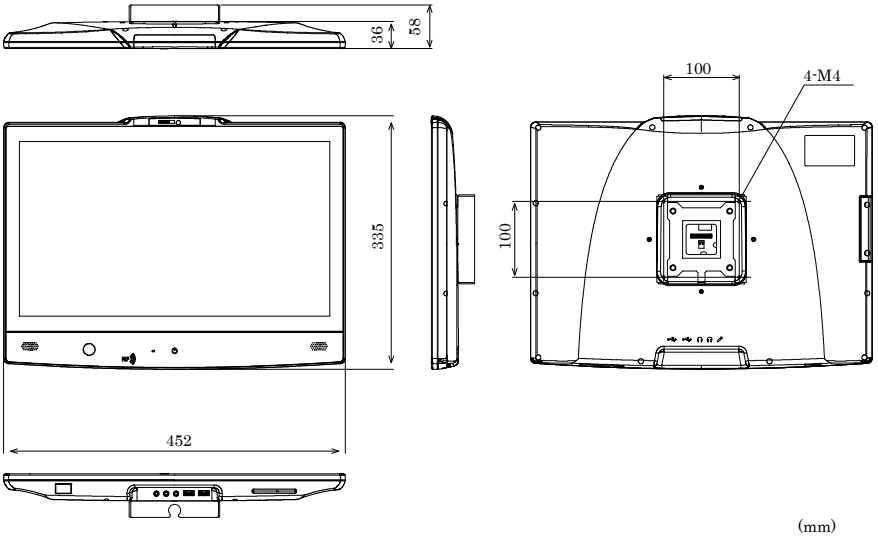


図2.2　外形寸法

■モニター

DIT-2000W18A



(mm)

図2.3　外形寸法

第３章 ハードウェアのセットアップ

ご使用にあたって

以下の手順で本書を活用いただき、本製品のセットアップを行ってください。

STEP1　この章の説明を参照の上、設置・接続・設定を行ってください。

STEP2　ケーブルの接続
ACアダプタおよびキーボードやマウスなど必要な外部機器のケーブルを本製品と接続してください。

STEP3　電源の投入
STEP1 - 2が正しく実施されていることを再度確認し、電源をONにしてください。電源をONにした後異常を感じた場合にはただちに電源をOFFにし、正しくセットアップが行われているかどうかを確認してください。

STEP4　BIOSセットアップ
第9章を参照し、BIOSセットアップを実行してください。なお、BIOSセットアップを行うためにキーボードが別途必要になります。

* ご使用になる前は必ず「Restore Defaults」を実行してBIOSのセットアップ状態を初期値にしてください。
(第9章「Main Menu」参照)

ハードウェアのセットアップ

- 作業前に電源がOFFになっていることを確認してください。
- 説明しているネジ以外は外さないようにしてください。

◆PC - モニター接続ケーブルの接続

(1) 製品添付のケーブル押さえ金具を、モニターのネジとともにモニターに取り付けてください。

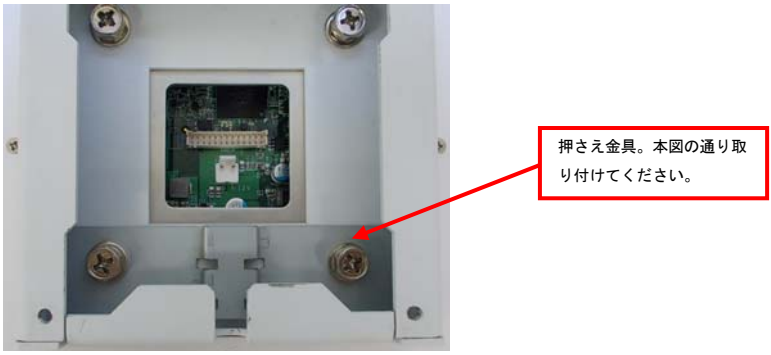


図3.1 押さえ金具の取り付け

(2) 製品添付の押さえ金具用結束バンド(205mm)を押さえ金具の切り欠きに通してください。
この結束バンドを使用し、ケーブルを固定します。

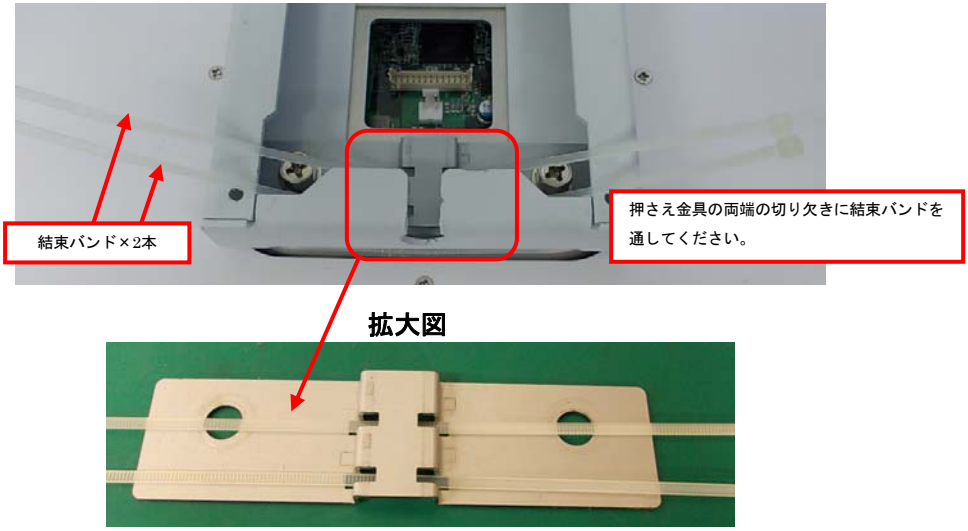


図3.2 結束バンドによるケーブルの固定

(3) モニター背面の切り欠きにケーブルを通してください。

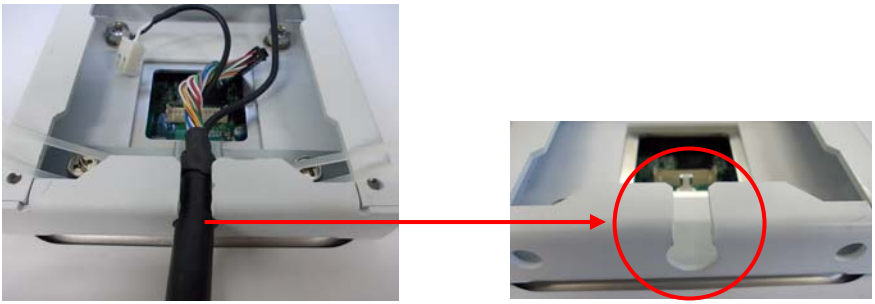


図3.3　切り欠きにケーブルを通す

(4) 背面コネクタ2箇所に、ケーブルを接続します。
この時、コネクタの向きに合わせて、奥まで差し込んでください。

図3.4　ケーブルの接続

(5) 丸端子ケーブルを、モニターのネジとともにモニターに取り付けてください。

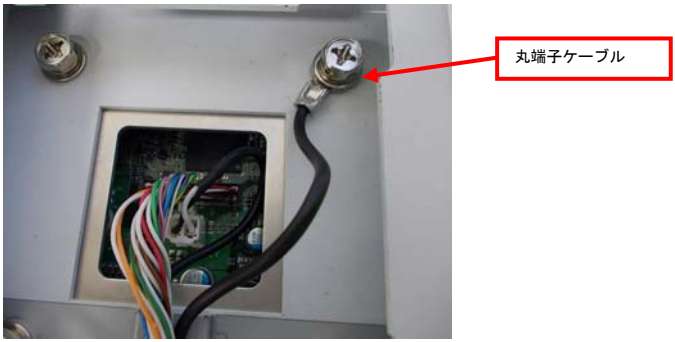


図3.5　丸端子ケーブルの取り付け

(6) 先ほど通した結束バンドを使用し、ケーブルを結束してください。結束した後、バンドの余りをニッパなどで切り取ってください。

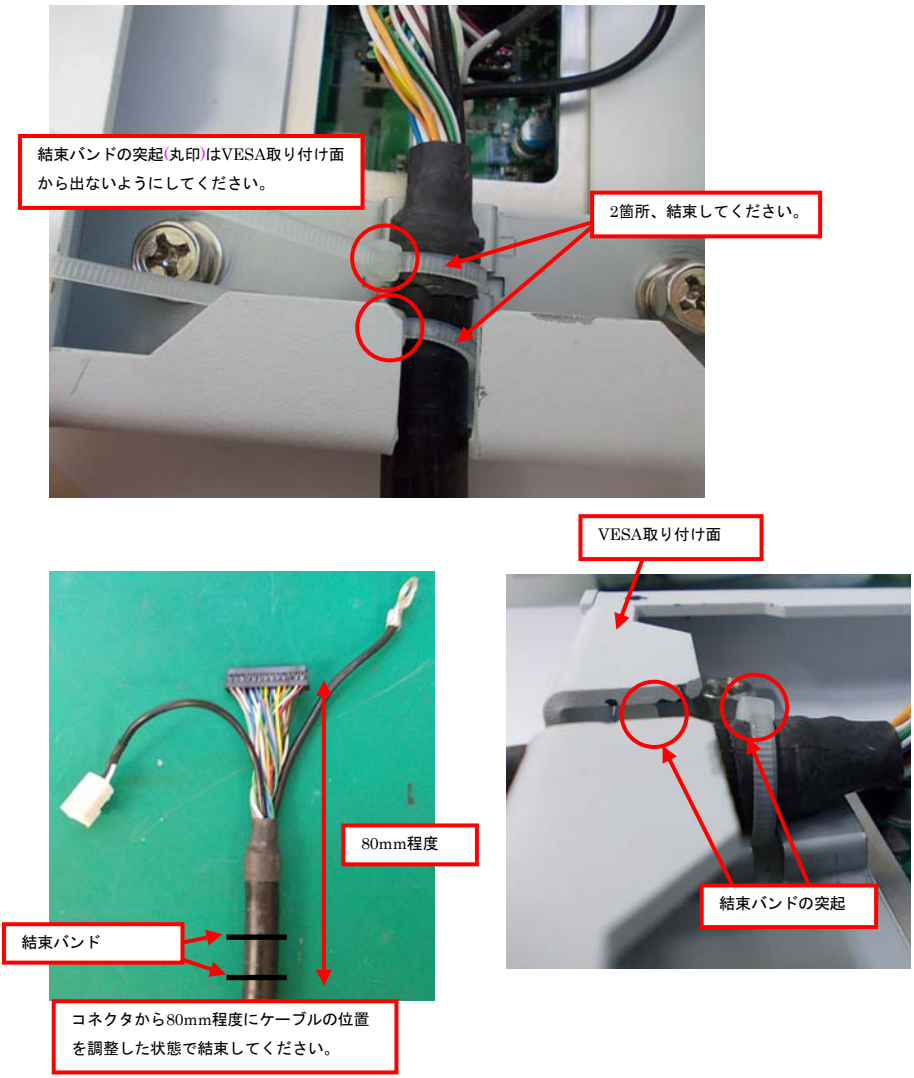


図3.6　結束バンドによるケーブルの結束

(7) PC側のLVDSコネクタおよびDC OUTコネクタにケーブルを接続してください。抜け止め防止のために両端のネジを締めてください。

図3.7　PCへのケーブル接続

(8) 製品添付のフェライトコアおよびフェライトコア用結束バンド(140mm)を使用し、フェライトコアを固定してください。

図3.8　フェライトコア、結束バンドの取り付け

*　PC-モニター接続ケーブルを通電中に挿抜しないで下さい。製品故障の恐れがあります。

◆電源ケーブルの接続

PCの電源コネクタ(DC IN)に、製品添付のACアダプタを接続してください。

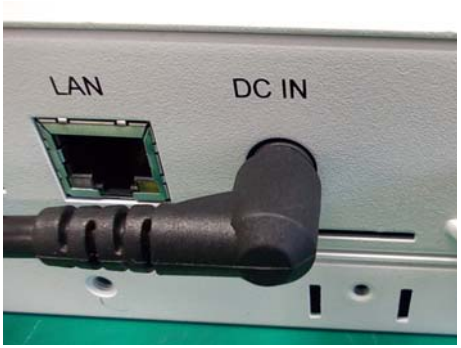


図3.9　電源ケーブルの接続

◆設置条件

周囲には、高温発熱や排気を伴う機器と距離を開けるなどの対策を行い、周囲温度が設置環境条件の範囲内に収まるようにしてください。

■モニター

DIT-2000-DC6114

水平設置および壁取り付け(斜め設置も含む)。なお、天井面にアンテナを取り付けていますので、電波の障害にならないように周囲の設置状況を十分ご確認いただいた上で設置してください。

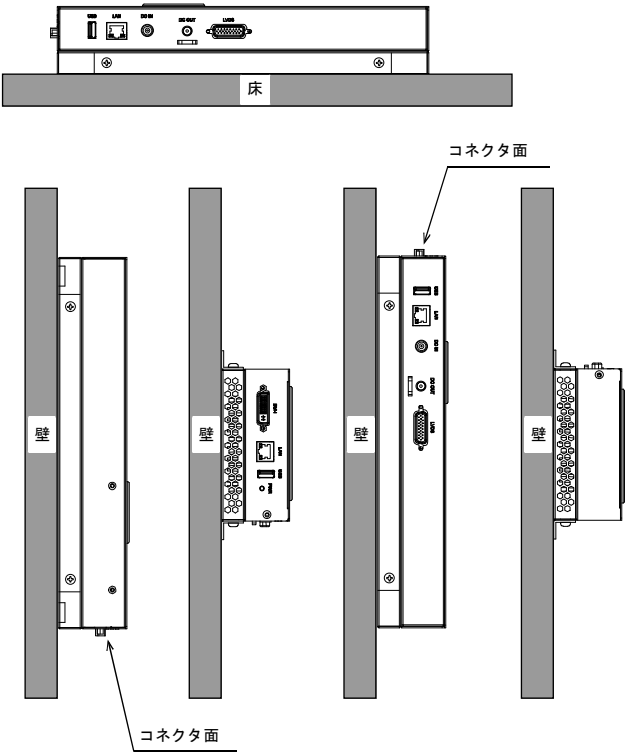


図3.10　設置方向

⚠ 注意

周囲温度が使用範囲内であっても、高温発熱する機器が近くにある場合は放射(輻射)の影響を受け本体の温度が上昇し動作不良を起こす可能性がありますのでご注意ください。

■DIT-2000W18A

VESA規格100mmでの取り付けに対応した固定穴があります。
VESA規格のスタンド、アーム等を使用する場合、下図のように取り付けることができます。

スタンド、アーム使用時は添付の取り付けネジを使用してください。

なお、スタンド、アーム使用時の推奨設置角度は-45°- 45°です。

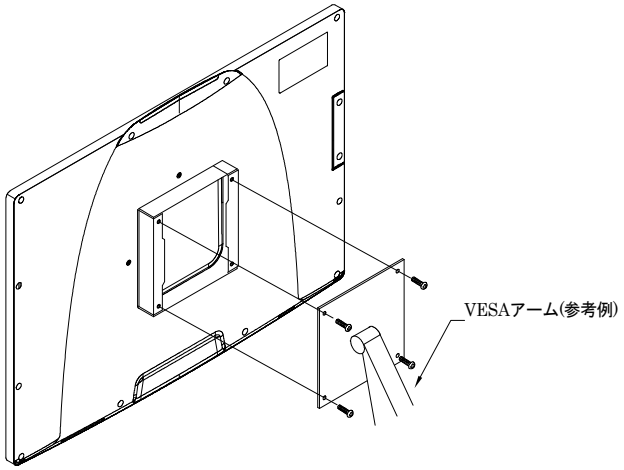


図3.11　VESA固定穴での取り付け

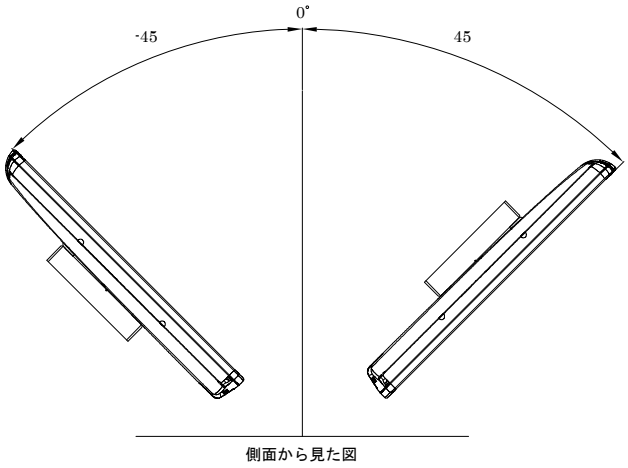


図3.12　推奨設置角度

第４章 各部の名称および機能

各部の名称

■コントローラ
DIT-2000-DC6114

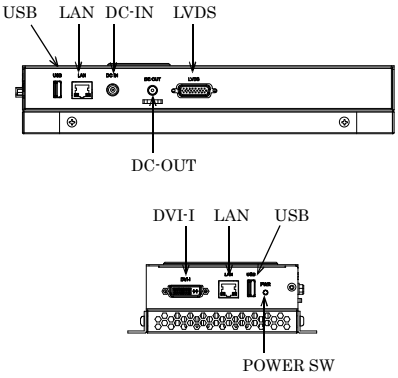


図4.1　各部の名称

表4.1　各部の機能

名称	機能
USB	USBポートコネクタ x 2
LAN	Ethernet 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T RJ-45コネクタ x 2
DC-IN	DC電源入力コネクタ
DC-OUT	モニター電源供給用DC出力コネクタ
LVDS	モニター接続用LVDSコネクタ
DVI-I	DVI-I出力コネクタ
POWER SW	PCパワースイッチ

■モニター

DIT-2000W-18A

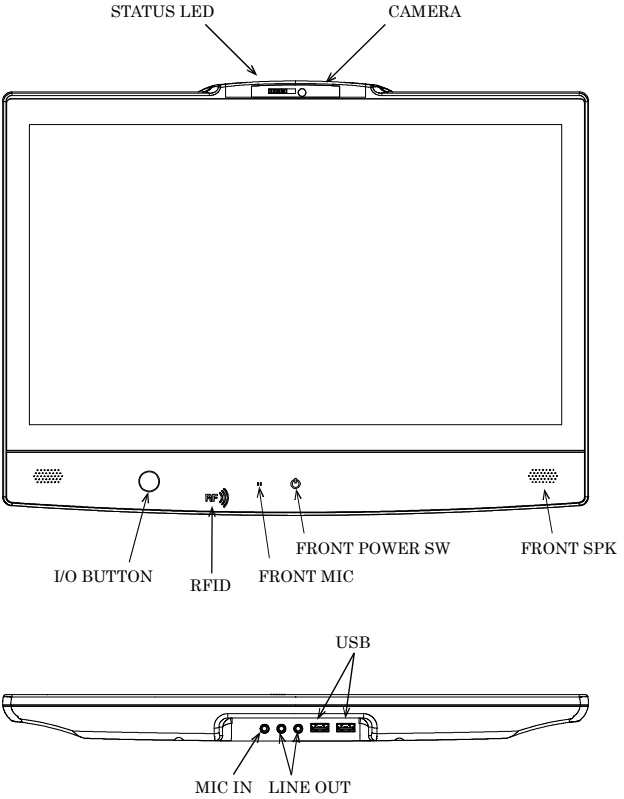


図4.2　各部の名称

表4.2　各部の機能

名称	機能
STATUS LED	ステータスLED
CAMERA	Webカメラ
RFID	RFIDリーダー
FRONT POWER SW	電源パワースイッチ
I/O BUTTON	汎用I/Oボタン
USB (x2)	USBポートコネクタ
FRONT SPK	フロントスピーカー
FRONT MIC	フロントマイク
LINE OUT (x2)	ライン出力 (3.5ΦPHONE JACK)
MIC IN	マイク入力 (3.5ΦPHONE JACK)

各部の機能

◆モニターON/OFF : FRONT PWR SW

モニターの前面にはFRONT PWR SWが装備されており、モニターON/OFFおよびPCの起動/スリープ処理*ができます。

* 出荷時状態のOSではPC起動中の5秒以上長押しでスリープ状態となります。詳しくは下表をご確認ください。

表4.3 FRONT PWR SWの動作

PC起動状態	SWの処理	動作	LEDの表示
電源OFF	５秒以上の押下	PC起動	緑色の点灯
電源ON(OS起動中)	５秒以下の押下	モニターのOFFもしくはON*1	モニターOFF：消灯 モニターON：緑色の点灯
電源ON(OS起動中)	５秒以上の押下	OSのスリープ	消灯
電源ON(OSスリープ中)	５秒以上の押下	スリープからの復帰*2	緑色の点灯

*1： バックライトをOFFします。モニターOFFした際においても、モニターに搭載されているその他の機能(スピーカー、USB、RFID、汎用I/Oボタン、ステータスLED、マイク)は動作します。

*2： スリープからの復帰直後は、内蔵デバイスの初期化が行われているため、しばらくお待ちいただいてからご使用ください。なお、Bluetoothデバイスをご利用になる場合、スリープ動作を行わないで下さい。

◆DC電源入力コネクタ ：DC-IN

必ず製品添付のACアダプタを接続してください。

◆PC電源スイッチ ：POWER SW

PCの電源、OSスリープをPOWER SWにより操作します。先の細いもので押下してください。

注：長押しはしないでください。

表4.4 POWER SWの動作

PC起動状態	SWの処理	動作
電源OFF	一度だけ押してください。	PC起動
電源ON(OS起動中)		OSのスリープ
電源ON(OSスリープ中)		スリープからの復帰 (復帰時の注意事項などは表4.3の*2をご参照ください。)

◆ヘッドホン出力インターフェイス: LINE OUT

モニター下部にヘッドホン出力用のコネクタを備えています。なお、ヘッドホンやスピーカーなどを接続すると、内蔵スピーカーは無効となります。

◆カメラ: CAMERA

モニター前面にカメラを装備しています。

◆マイク ：MIC

モニター前面部にMICインターフェイスを備えており、マイク入力が可能です。また、モニター下部にもマイクコネクタがあり、このコネクタを使用して、マイク入力が行えます。

⚠ 注意

スピーカーのプロパティ内の「マイク」については設定変更せずに、下図のとおりにご使用ください。

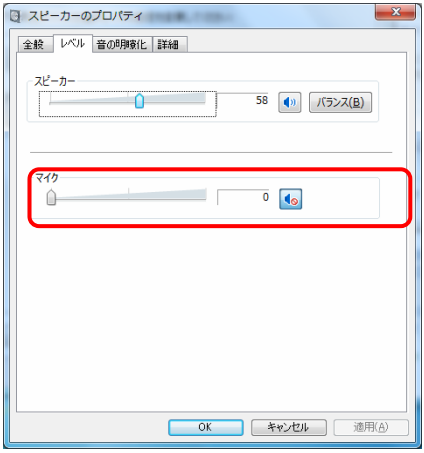


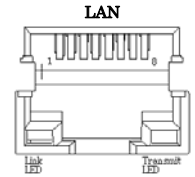
図4.3　スピーカーのプロパティ

◆ギガビットイーサネット:LAN

ギガビットイーサネットを1ポート装備しています。

・ネットワーク形態　　：1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
・伝送速度　　：1000M/100M/10M bps
・ネットワーク経路長最大　　：100m/セグメント
・コントローラ　　：Realtek RTL8111E

表4.5　ファーストイーサネットコネクタ



ピン番号	Function	
	100BASE-TX	1000BASE-T
1	TX+	TRD+(0)
2	TX-	TRD-(0)
3	RX+	TRD+(1)
4	N.C.	TRD+(2)
5	N.C.	TRD-(2)
6	RX-	TRD-(1)
7	N.C.	TRD+(3)
8	N.C.	TRD-(3)

ネットワークの状態表示用LED

左LED　:リンクLED

10M　　: Off
100M　　: 緑色
1000M　　: 橙色

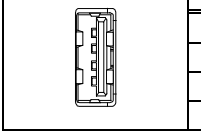
右LED　:動作LED

正常接続　　: 橙色点滅

◆USBポート: USB

USB 2.0のインターフェイスを4ポート(PC部×2ポート、モニター部×2ポート)装備しています。

表4.6　USBコネクタ



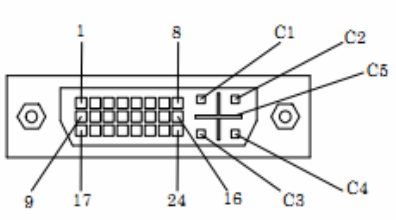
ピン番号	信号名
1	USB_VCC
2	USB-
3	USB+
4	USB_GND

◆外部モニター出力：DVI-I

DVI-Iインターフェイスを備えており、外部モニターへ出力ができます。

表4.7 DVI-Iコネクタ

使用コネクタ	DVI-D 29ピン



ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	DATA2-	13	N.C.	C1	RED
2	DATA2+	14	+5V	C2	GREEN
3	DATA2 SHIELD	15	GND	C3	BLUE
4	N.C.	16	HPD	C4	HSYNC
5	N.C.	17	DATA0-	C5	GND
6	DDC CLK	18	DATA0+		
7	DDC DATA	19	DATA0 SHIELD		
8	VSYNC	20	N.C.		
9	DATA1-	21	N.C.		
10	DATA1+	22	CLK SHIELD		
11	DATA1 SHIELD	23	CLK+		
12	N.C.	24	CLK-		

◆モニター接続用コネクタ：LVDSおよびDC-OUT

モニターに接続する専用コネクタです。他目的でのご使用はできません。

第５章 RFIDの操作

モニター前面のRFIDをご利用いただけます。プログラムの作成に必要なSDK(ソフトウェア開発キット)を別途用意しております。詳しくは当社総合インフォメーションにお問い合わせください。

第６章 Bluetoothの操作

本製品にはBluetoothモジュールを搭載しておりBluetooth対応機器をご利用いただけます。

⚠ 注意

- すべてのBluetooth対応機器との接続動作を確認したものではありません。また、すべてのBluetooth対応機器との動作を保証することはできません。お客様で事前の動作確認をお願いします。
- 機器と本製品を通信可能な範囲に置いて接続を行ってください。
- 電波干渉が起こる場合は機器の配置を見直すなどの対応を行ってください。

◆デバイスの登録

(1) 接続したいBluetoothデバイスを本製品と接続可能な状態にしてください。(製造元から提供されている内容を確認の上、接続可能な状態にしてください。)

(2) スタートメニューから、「Bluetooth」-「新しい接続の追加」を選択してください。

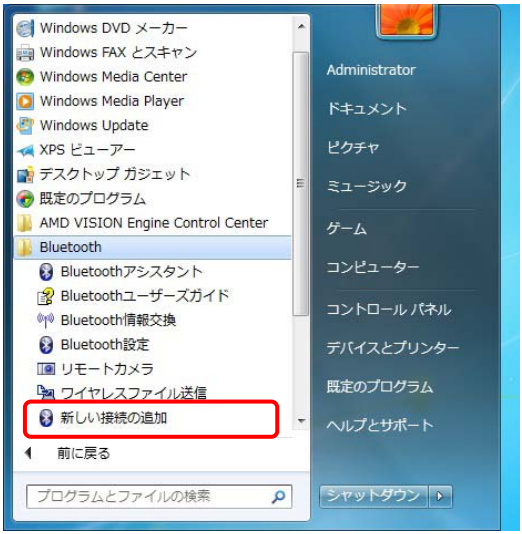


図6.1 新しい接続の追加

(3) デバイス検出画面が表示されます。デバイスが検出されたら、画面にしたがい登録を進めてください。

図6.2　Bluetoothデバイス検出

(4) デバイス登録が完了すると以下の画面が表示されます。(本図はオーディオデバイスが登録完了した状態です。)
登録完了後、ご使用できます。

図6.3　デバイス登録完了

補足 ： 画面右下にBluetoothデバイスを自動検出するプログラムも起動しております。このプログラム上で以下の画面が表示された際に「はい」を選択すると(3)の画面に進みます。

本画面が表示された際に「はい」を選択すると、(3)の検出画面に進みます。

図6.4　Bluetoothアシスタント

◆デバイスの接続、切断、削除

登録したBluetoothデバイスの接続、切断、削除を行いたい場合はスタートメニューから、Bluetooth-Bluetooth設定を選択してください。以下の画面上でBluetoothを選択すると、接続、切断、登録の削除などを行うことができます。

図6.5　Bluetooth設定

第７章 モニターLED、I/Oボタン

当社ホームページより無償サンプルプログラムをダウンロードできます。サンプルプログラムをご使用の際には、IO-Libをインストールする必要があります。以下にIO-Libのインストール方法と、I/Oのアクセス仕様について、説明します。

◆IO-Lib

事前にIO-Libのインストールが必要になります。以下にIO-Libのインストール方法を記載します。

(1) 当社ホームページより「LZF826IO_312R.EXE」をダウンロードしてください。ダウンロード後、本製品のCドライブ直下に「DIO」フォルダを作成し、LZF826IO_312R.EXEをコピーしてください。

(2) ファイルを展開します。
LZF826IO_312R.EXEを実行すると、下記の画面が表示されます。「OK」を選択してください。

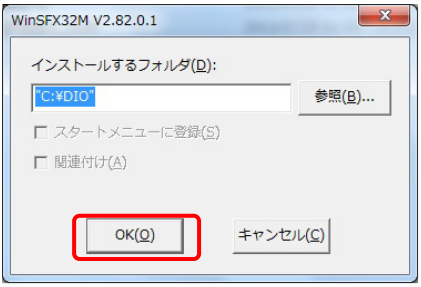


図7.1 実行ファイル解凍先

(3) ファイルの展開先に、下記ディレクトリ構造のファイルが作成されます。

```
指定フォルダ
    ├─APIPAC
    ├─INF
    └─Readme
```

(4) 指定フォルダ(¥APIPAC¥Runtime¥IOLIB¥Disk1¥setup.exe)を実行してください。

(5) 言語を選択して、「次へ」を選択してください。

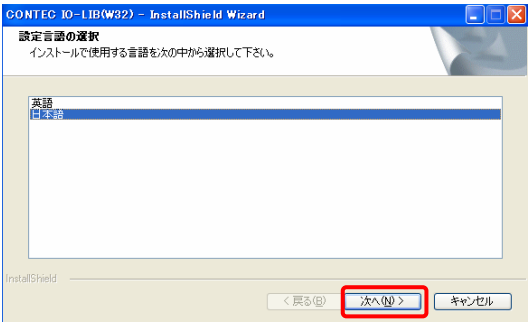


図7.2 インストール 1

(6) 「次へ」を選択してください。

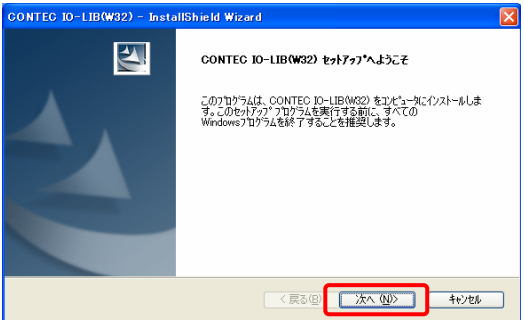


図7.3 インストール 2

(7) インストール先のフォルダを指定して、「次へ」を選択してください。

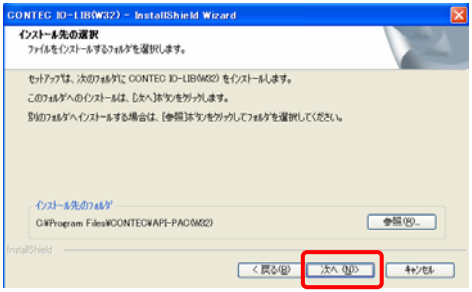


図7.4 インストール 3

(8) プログラムフォルダを指定して、「次へ」を選択してください。

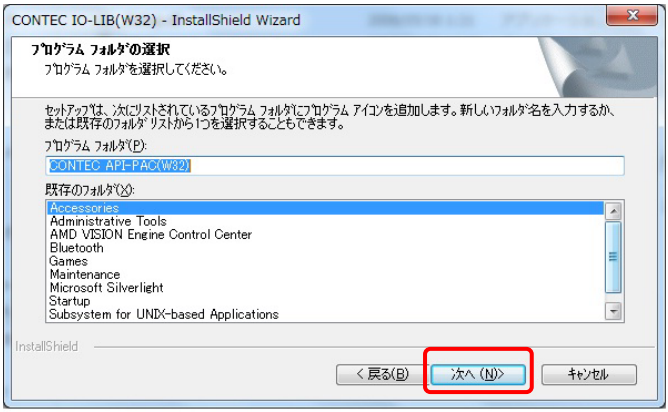


図7.5 インストール 4

(9) 「完了」を選択してください。「完了」を選択後、PCを再起動してください。

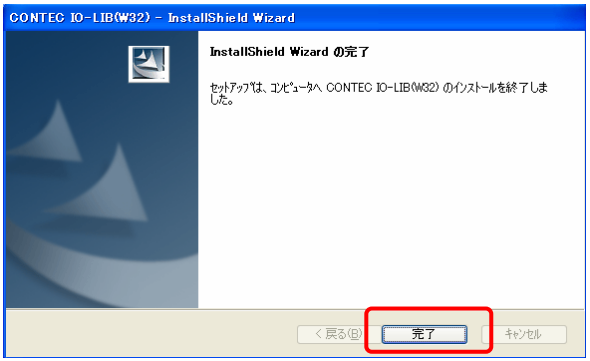


図7.6 インストール完了

以上で、IO-Libのインストールは完了です。

IO-Libインストール後、下記手順に沿ってセットアップを行います。

(10) IO-Libを起動します。
スタートメニューから、CONTEC API-PAC(W32)- IO-LIB(W32)-IO-LIB Configurationを選択してください。

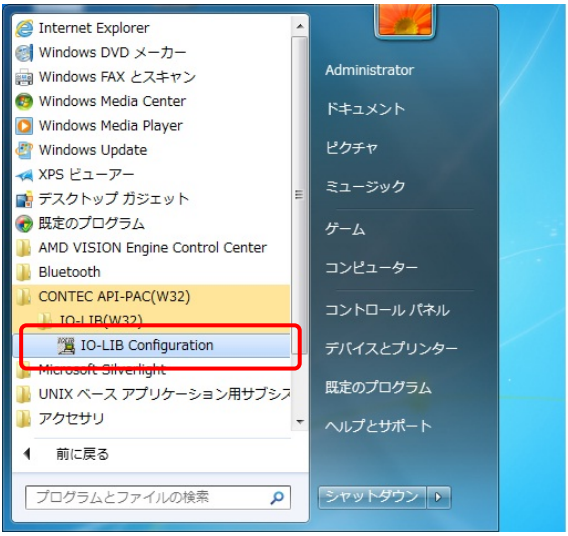


図7.7 IO-LIB Configuration 1

(11) 「IO-LIB(W95/NT) Configuration」画面が表示されます。
「OK」を選択してください。

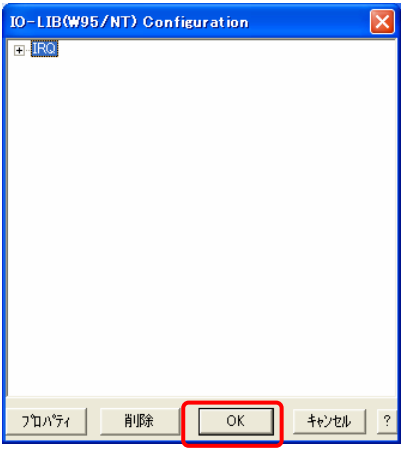


図7.8 IO-LIB Configuration 2

(12) 「はい」を選択してください。

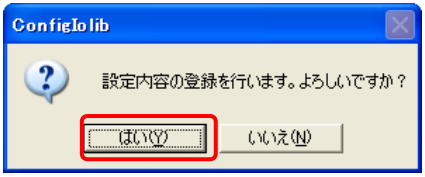


図7.9 設定内容の登録

(13) 「OK」を選択してください。「OK」選択後、PCを再起動してください。

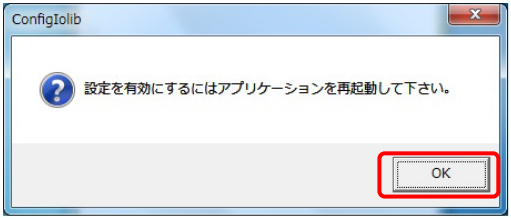


図7.10 再起動指示

以上で、IO-Libのセットアップは完了です。

◆I/Oのアクセス仕様一覧

表7.1　I/Oボタンとモニター LEDのアクセス仕様一覧

<table>
<tr><th>項目</th><th>仕様</th></tr>
<tr><td>GPIOレジスタ</td><td>
Index port address：4EH/4FH
(Logical Device Number Register - index 07h)
<table>
<tr><th>Bit</th><th>Name</th><th>R/W</th><th>Default</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>7 - 0</td><td>LDN</td><td>R/W</td><td>0</td><td>デバイス番号を指定します。
(GPIOの場合は06H)</td></tr>
</table>
(GPIO Device Configuration Register)
<table>
<tr><th>Register
0x[Hex]</th><th>Register Name</th><th>Default</th></tr>
<tr><td>0xC0</td><td>GPIO3 Output Enable Register</td><td>0x0</td></tr>
<tr><td>0xC1</td><td>GPIO3 Output Data Register</td><td>0xFF</td></tr>
<tr><td>0xC2</td><td>GPIO3 Pin Status Register</td><td>-</td></tr>
<tr><td>0xC3</td><td>GPIO3 Device Enable Register</td><td>0x0</td></tr>
</table>
(GPIO3 for Output Data Register)
<table>
<tr><th>Bit</th><th>Name</th><th>R/W</th><th>Default</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>7</td><td>GPIO37_VAL</td><td>R/W</td><td>1</td><td>I/O LED
0:Red LED on
1:Red LED off</td></tr>
<tr><td>6</td><td>GPIO36_VAL</td><td>R/W</td><td>1</td><td>Reserved</td></tr>
<tr><td>5</td><td>GPIO35_VAL</td><td>R/W</td><td>0</td><td>Reserved</td></tr>
<tr><td>4</td><td>GPIO34_VAL</td><td>R/W</td><td>1</td><td>Reserved</td></tr>
<tr><td>3</td><td>GPIO33_VAL</td><td>R/W</td><td>1</td><td>Reserved</td></tr>
<tr><td>2</td><td>GPIO32_VAL</td><td>R/W</td><td>1</td><td>GREEN LED
0:GREEN LED on
1:GREEN LED off</td></tr>
<tr><td>1</td><td>GPIO31_VAL</td><td>R/W</td><td>1</td><td>RED LED
0:RED LED on
1:RED LED off</td></tr>
<tr><td>0</td><td>GPIO30_VAL</td><td>R/W</td><td>0</td><td>I/O Button
0: not pressed
1: pressed</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>利用方法</td><td>ホームページより無償提供しているサンプルプログラムを参照願います。</td></tr>
</table>

第８章 タッチパネル

本製品は、キーボード/マウスレスを可能にするタッチパネルを装備しています。

◆キャリブレーション

タッチパネルの特性として、周囲環境(温湿度)の変化、経時変化により検出位置がずれてくる場合があります。このような時はタッチパネルのキャリブレーションを実行し、タッチ位置の補正を行ってください。

(1) スタートメニューから、コントロールパネルを選択してください。

図8.1　コントロールパネル

(2) ハードウェアとサウンドを選択してください。

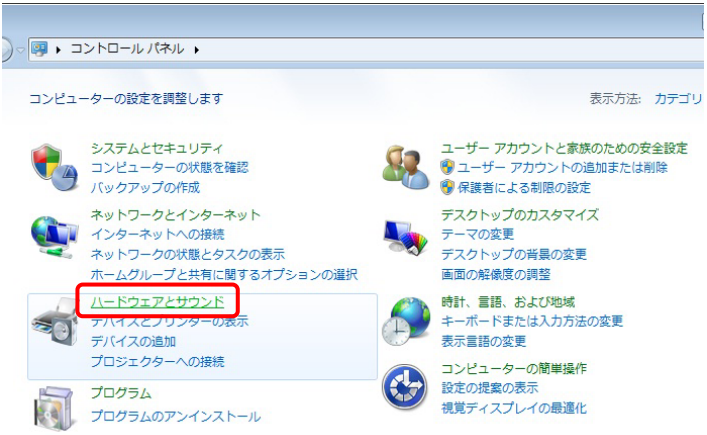


図8.2　ハードウェアとサウンド

(3) Tablet PC設定を選択してください。

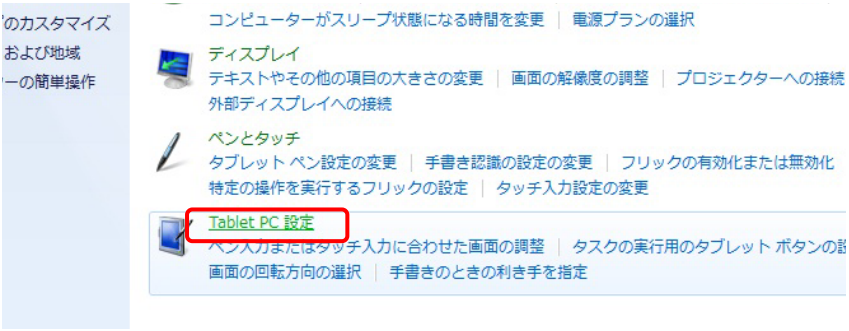


図8.3　Tablet PC設定

(4) 以下の画面が表示されます。「調整(C)」を選択してください。キャリブレーションを行った後、再キャリブレーションを行う際は、一度「リセット(R)」を押し、キャリブレーションデータを削除した後、調整を選択してください。

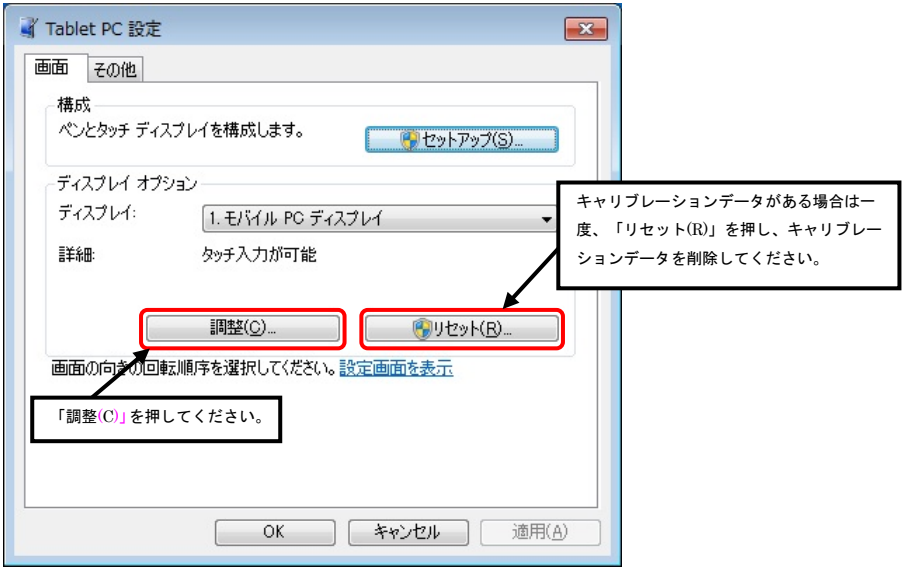


図8.4　キャリブレーション設定

(5) キャリブレーション画面が表示されます。画面上の十字ボタンをタップしてください。正常に反応した場合、十字ボタンが移動しますので、画面にしたがいタップしてください。

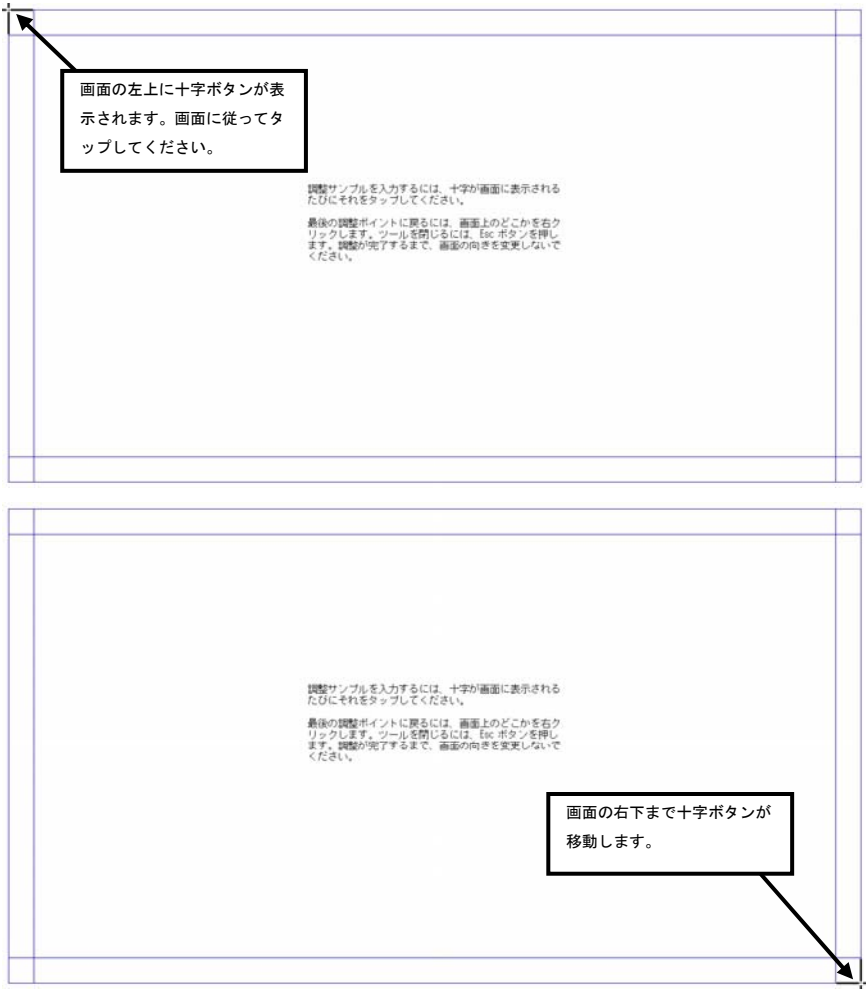


図8.5 キャリブレーション

⚠ 注意

先端が尖ったもので画面をタッチしないでください。タッチパネルを傷つけたり、故障の原因となる場合があります。

(6) キャリブレーション設定を行った後、以下の画面が表示されます。「はい」を選択してください。以上でキャリブレーションは完了です。

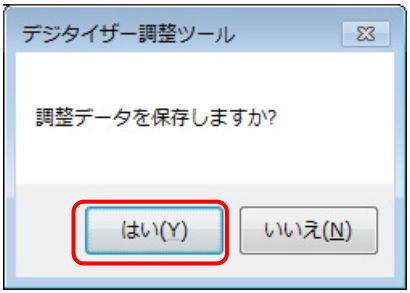


図8.6　設定保存

◆その他の設定

タッチアンドホールド(一部箇所を押し続けた状態)で右クリック操作に関する設定ができます。出荷時状態はタッチアンドホールドで右クリックが有効です。以下に右クリック操作の解除設定を説明します。

(1) スタートメニューから、「コントロールパネル」 - 「ハードウェアとサウンド」を選択してください。

(2) 「ペンとタッチ」を選択してください。

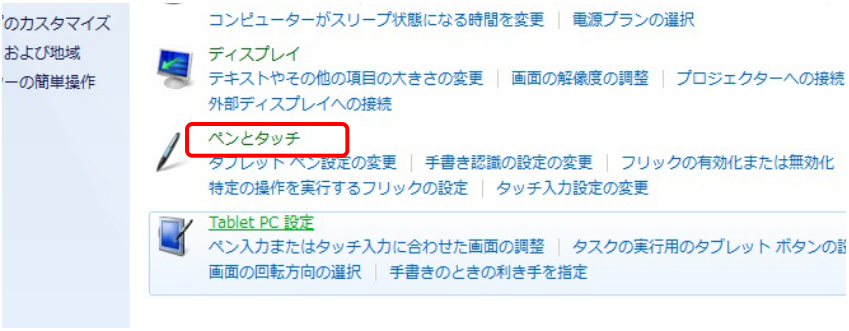


図8.7　ペンとタッチ

(3) 以下の画面が表示されます。「タッチ」タブ - 「プレスアンドホールド」と選択した後、「設定(S)」を選択してください。

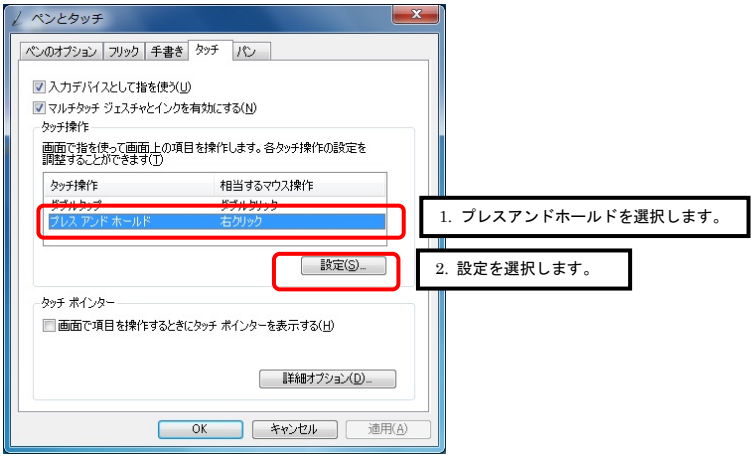


図8.8　タッチの設定

(4) 以下の画面が表示されます。「タッチ」タブを選択し、「プレスアンドホールドを右クリックとして認識する(E)」のチェックを外し、「OK」を選択してください。

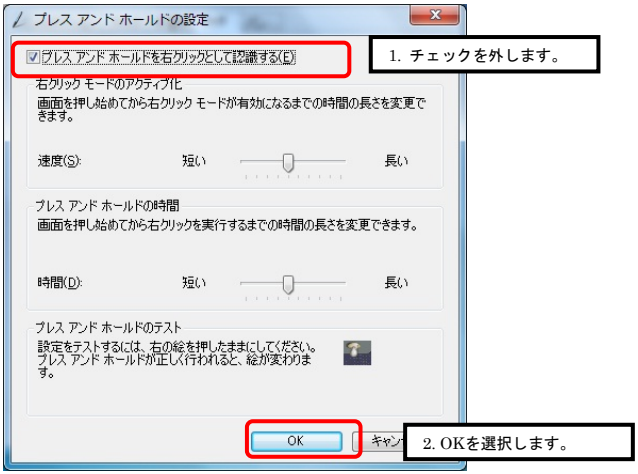


図8.9　プレスアンドホールドの設定

(5)　(3)の画面に戻りますので、再度「OK」を選択してください。

第９章 無線LANの設定

無線LANをご利用になる場合には、以下に沿って接続してください。

(1) タスクトレイに表示されているアンテナアイコン(下図の赤丸部)をクリックしてください。

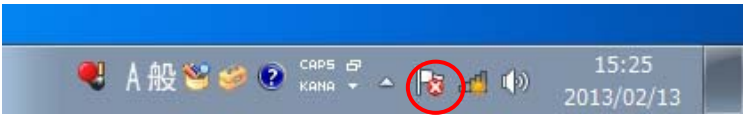


図9.1　アンテナアイコン

(2) 無線LANの一覧が表示されます。接続したいLANをクリックしてください。

図9.2　無線LAN選択

(3) 接続時にセキュリティキーが必要な場合はセキュリティキーを入力の上、接続してください。

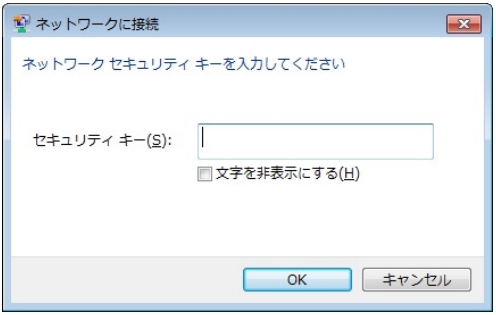


図9.3　セキュリティキー

第１０章 BIOSセットアップ

概要

本章では、製品に組み込まれているAMI社のセットアッププログラムについて説明します。セットアッププログラムを用いて、システムの基本設定を変更できます。

◆セットアップの開始

コンピュータの電源を入れると、AMI BIOSが直ちに開始されます。
システムに電源を入れた直後、<DEL>キーを押します。
<DEL>キーを押す前にメッセージが消えてしまった場合、セットアップにアクセスするには
コンピュータの電源をOFFにした後ONにする必要があります。<Ctrl>、<Alt>、<Delete>キーを同時に押してリスタートすることもできます。

◆セットアップの操作

通常、矢印キーを用いて項目間を移動し、<Enter>を押して選択します。項目値を変更するには+および–キーを使用します。<F1>を押すとヘルプが表示され、<Esc>を押すとセットアップが終了します。セットアッププログラム操作のキーボード対応表を以下に示します。

表10.1　セットアップの操作

キー	機能
上矢印	前の項目に移動します。
下矢印	次の項目に移動します。
左矢印	左の項目に移動します。
右矢印	右の項目に移動します。
Enter	選択した項目に移動します。
+	数値を増分または変更します。
−	数値を減分または変更します。
F1	キー機能のヘルプ画面を起動します。
F2	CMOSから前の数値をロードします。
F3	BIOSデフォルトテーブルから最適デフォルトをロードします。
F4	すべてのCMOS変更を保存し、終了します。
ESC	メインメニュー：変更を保存せずに終了します。 サブメニュー　：現在のページを終了し、次レベルのメニューを表示します。

◆ヘルプの確認

F1を押すと、表示されている項目に関する適切なキーまたは選択肢が、小さなポップアップウィンドウに表示されます。Helpウィンドウを終了するには、<Enter>キーを押します。

◆問題発生時

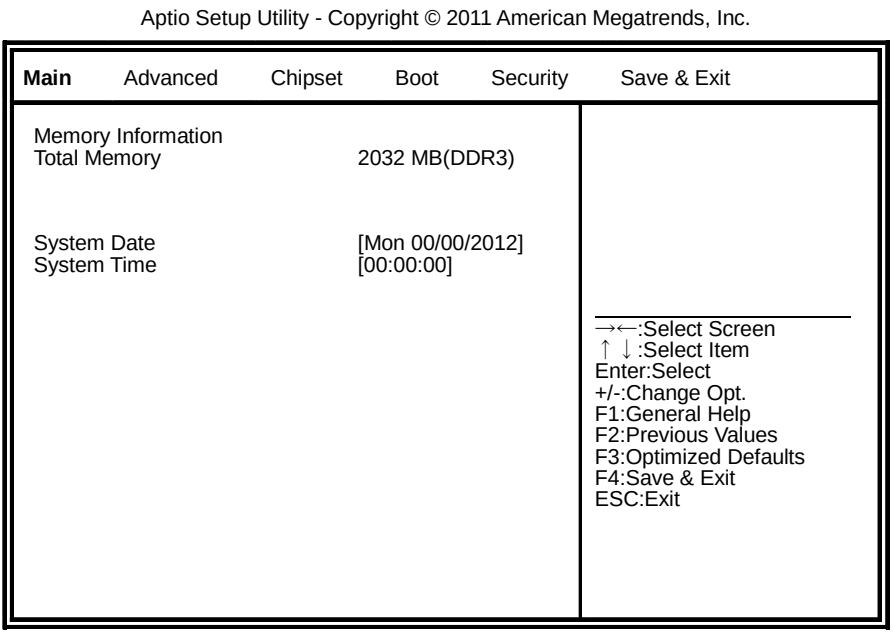
セットアップでシステムを変更し、保存した後にコンピュータがブートできなくなった場合は、修理が必要となります。システムに対しては、不明箇所の設定変更をしないでください。特にCPU・チップセットのデフォルト設定は、変更しないことを推奨します。これらのデフォルトは、AMI社とシステムメーカの両者がパフォーマンスと信頼性を最大限保証するために十分に考慮して選択した値です。これらの設定をわずかに変更しても、修理が必要となる可能性があります。

◆注意事項

本章の情報は予告なく変更することがあります。

メインメニュー

この項目ではコンピュータの基本的なハードウェア構成を保存することができます。

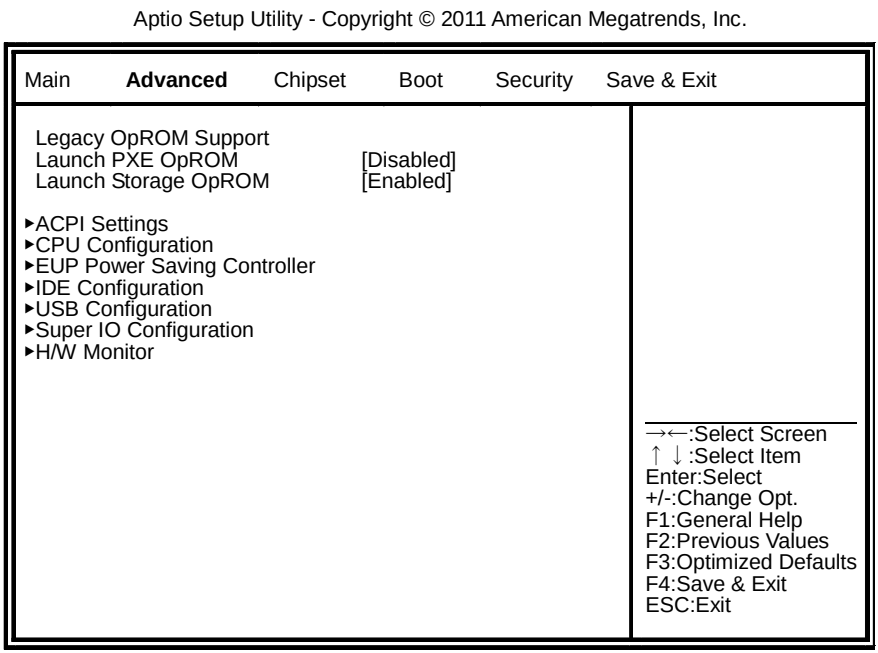


項目	説明
System Date	日付を変更できます。選択項目を移動するにはTabキーを使用して下さい。
System Time	時間を変更できます。選択項目を移動するにはTabキーを使用して下さい。

図10.1　メインメニューの表示項目

Advanced

システムの構成および変更ができます。また、要求に合わせてシステムの特性を変更することができます。

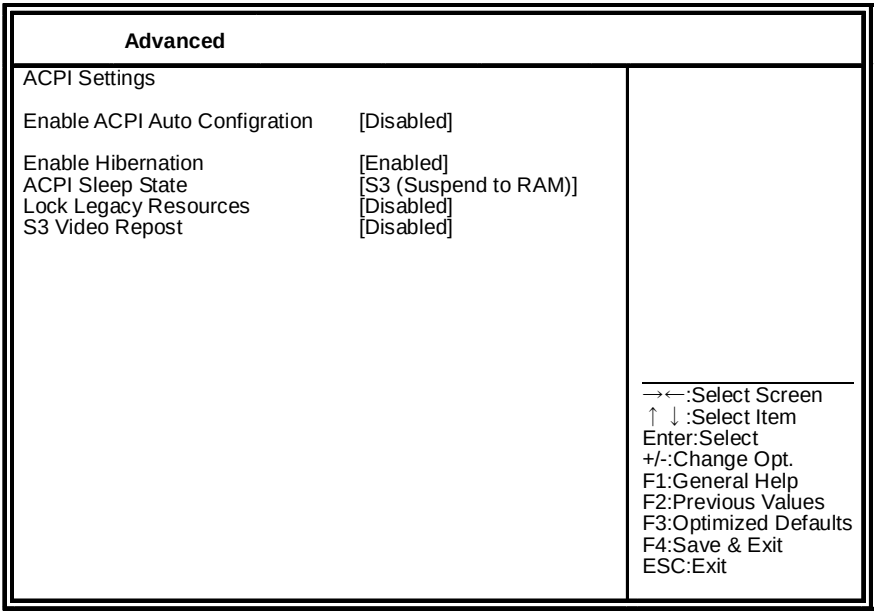


項目	説明
Launch PXE OpROM	Legacy Network Deviceのブートオプションを有効/無効にできます。
Launch Storage OpROM	オプションROMのあるLegacy Mass Storage Deviceのブートオプションを有効/無効にできます。

図10.2　Advancedメニューの表示項目

◆ACPI Settings

システムのACPIパラメータを設定できます。

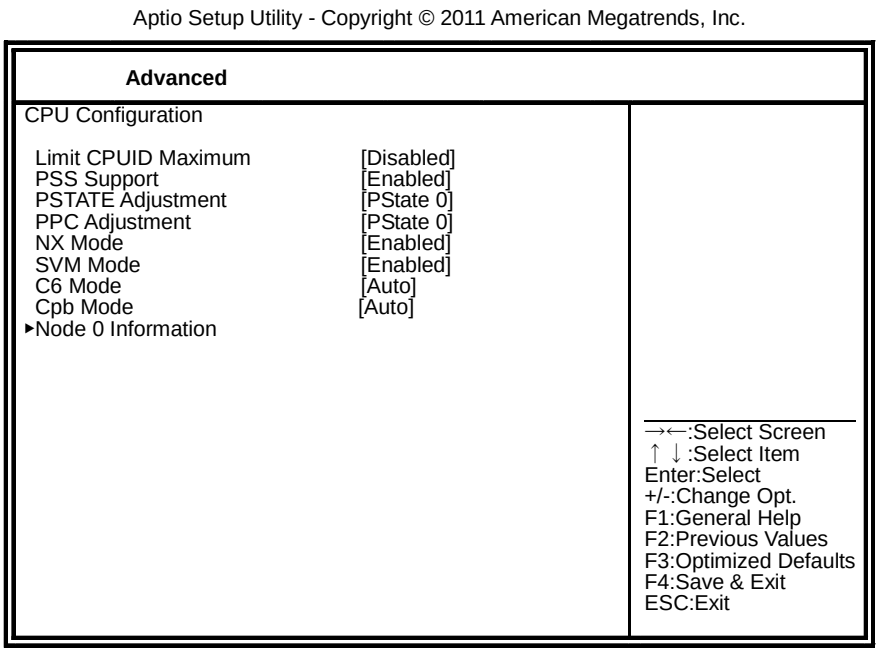


項目	説明
Enabled ACPI Auto Configuration	BIOSのACPI Auto Configurationを有効/無効にできます。
Enable Hibernation	システムのハイバネート(OS/S4 Sleep State)を有効/無効にできます。 この選択肢は、一部OSでは使用できません。
ACPI Sleep State	SUSPENDが実施された際にシステムがACPI Sleep Stateに入ります。 この項目により、Stateの数字が最大のものを選択できます。
Lock legacy Resources	Legacy Resourcesのロックを有効/無効にできます。
S3 Video Repost	S3 Video Repostを有効/無効にできます。

図10.3　ACPI Settingsメニューの表示項目

◆CPU Configuration

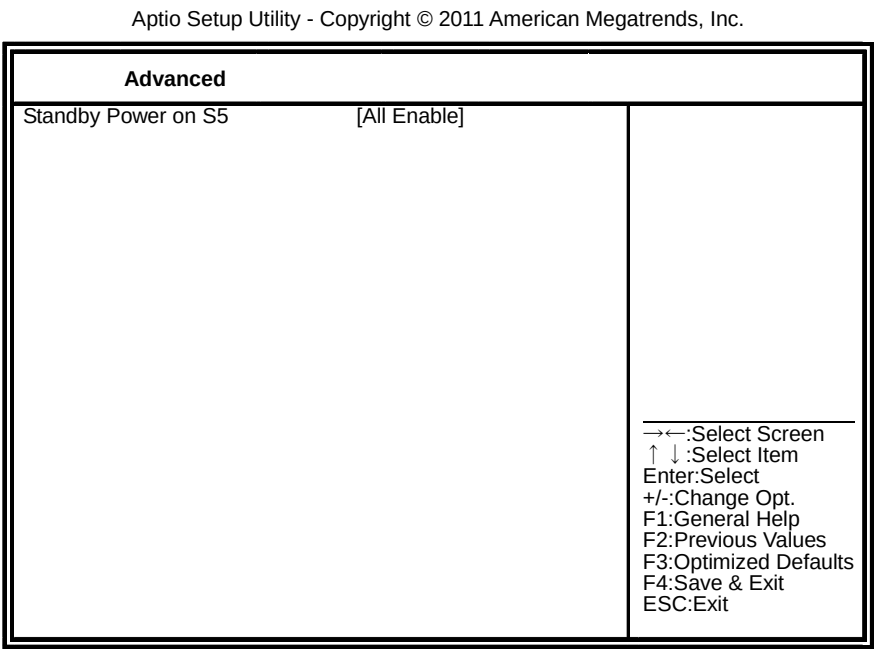
CPU構成のパラメータを表示しています。



項目	説明
Limit CPUID Maximum	設定変更しないでください。
PSS Support	ACPI_PPC, _PCTオブジェクトの生成を有効/無効にできます。
PSTATE Adjustment	P-stateレベルのスタートアップを調整できます。
PPC adjustment	Adjust_PPCオブジェクトを設定できます。
NX Mode	NO-execute page protection Functionを有効/無効にできます。
SVM Mode	CPU Virtualizationを有効/無効にできます。
C6 Mode	C6を有効/無効にできます。
Cpb Mode	Cpbを有効/無効にできます。
Node 0 Information	Node 0に関するメモリ情報を見ることができます。

図10.4　CPU Configurationメニューの表示項目

◆EUP Power Saving Contoroller

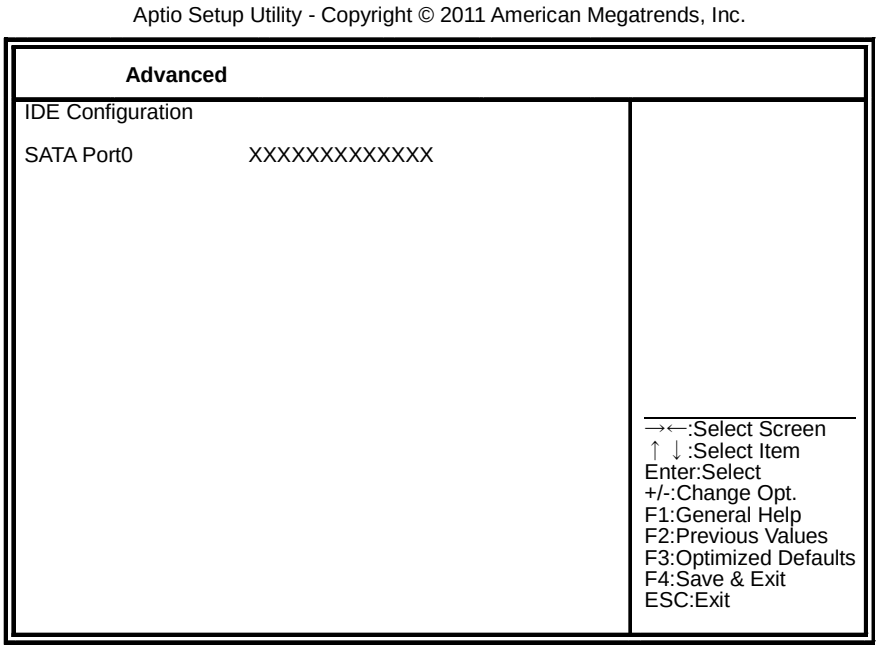


項目	説明
Standby Power on S5	スタンバイ状態でのデバイスへの電源供給を有効/無効にできます。

図10.5　EUP Power Saving Controllerメニューの表示項目

◆IDE Configuration

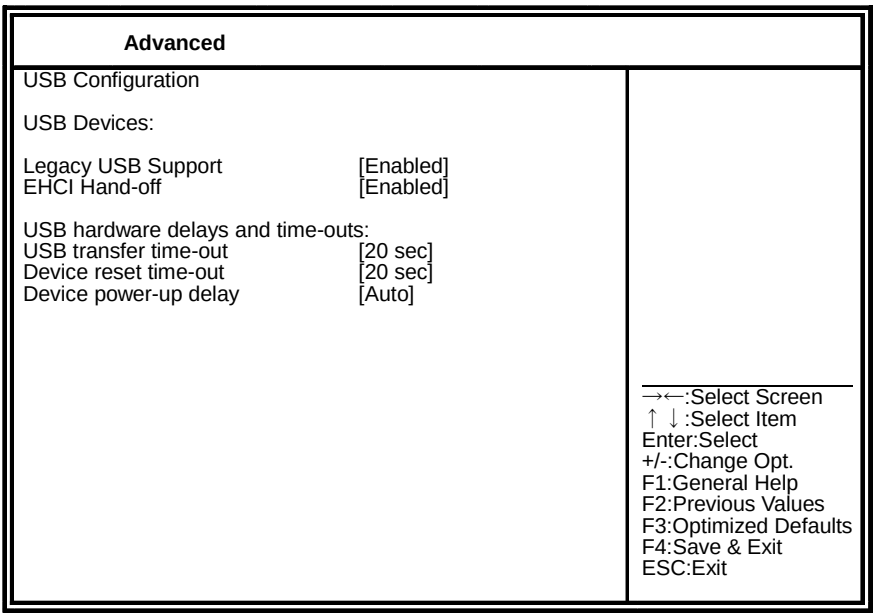
IDEデバイスの構成を表示しています。



項目	説明
SATA Port0	接続されているストレージが表示されます。

図10.6 IDE Configurationメニューの表示項目

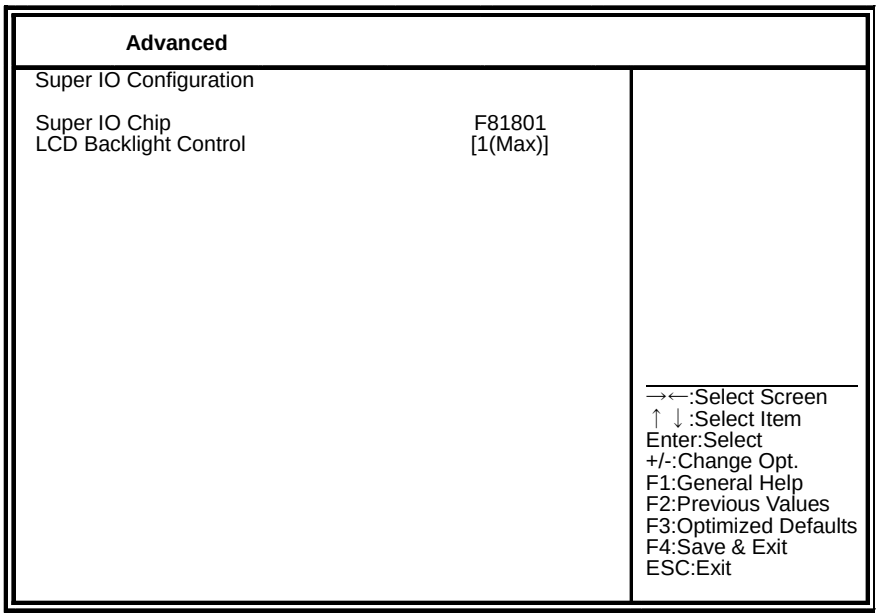
◆USB Configuration



項目	説明
Legacy USB Support	Legacy USBサポートを有効にできます。AUTOを選択すると、USBデバイスが接続されていない場合はLegacyサポートが無効になります。DISABLEを選択すると、USBデバイスはEFIアプリケーションのみに使用可能となります。
EHCI Hand-off	EHCI hand-offサポートのないOSのための解決策です。EHCIドライバにより、EHCI所有権の変更が要求されます。
USB transfer time-out	Control, Bulk, Interrupt間を移動する際のタイムアウト値です。
Device reset time-out	USBマスストレージデバイスStart Unitのコマンドのタイムアウト値です。
Device power-up delay	デバイスがホストコントローラに通知をする前にデバイスがかける時間の最大値です。”Auto”はユーザのデフォルト値です：Root Portでは100msです。Hub Portでは遅延はHubディスクリプタに決定されます。

図10.7　USB Configurationメニューの表示項目

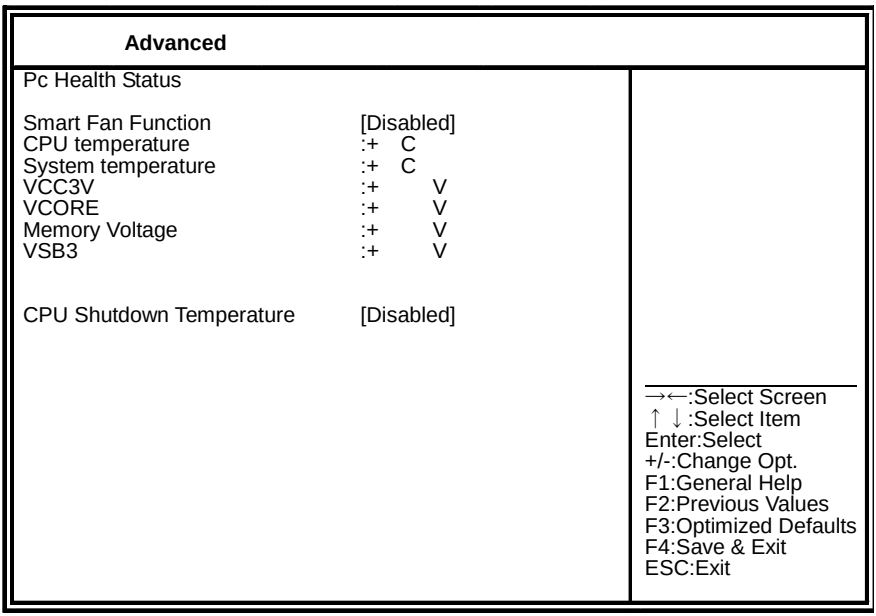
◆Super IO Configuration



項目	説明
LCD Backlight Control	LCDバックライトの明るさを調整できます。

図10.8　Super IO Configurationメニューの表示項目

◆H/W Monitor

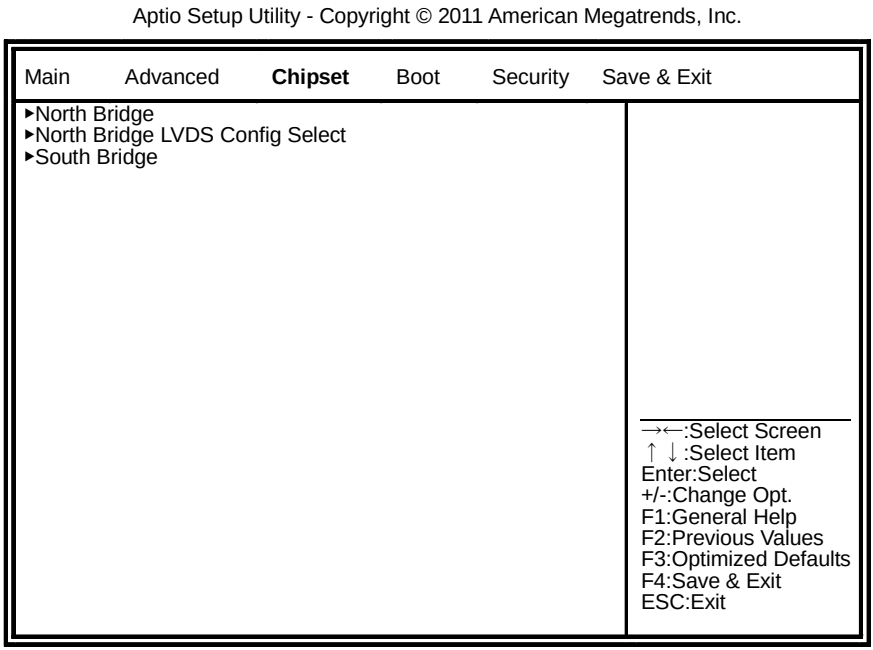


項目	説明
Temperatures/Voltages	システムによりモニターされた読み取りのみの数字です。PCの状態を確認することができます。
CPU Shutdown Temperature	Disabledの選択肢のほか、この項目によりシステムがダウンする温度を70℃から95℃の間で設定できます。

図10.9　H/W Monitorメニューの表示項目

Chipset

システムの構成および変更が可能です。また、要求に合わせてシステムの特性を変更することができます。

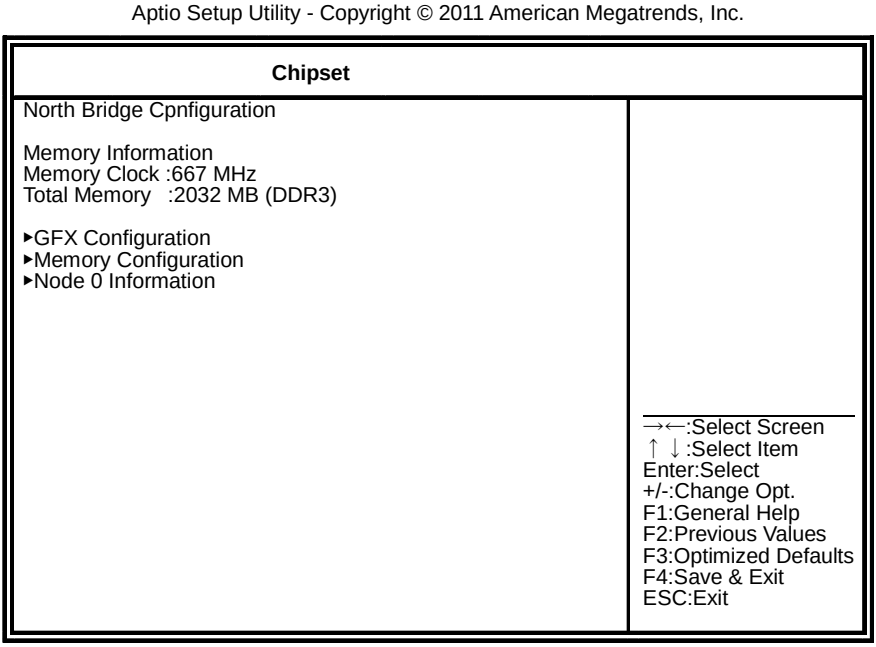


項目	説明
North Bridge	North Bridgeのパラメータを表示しています。
North Bridge LVDS Config Select	モニター出力のLVDS設定です。設定変更しないでください。
South Bridge	South Bridgeのパラメータを表示しています。

図10.10　Chipsetメニューの表示項目

◆North Bridge

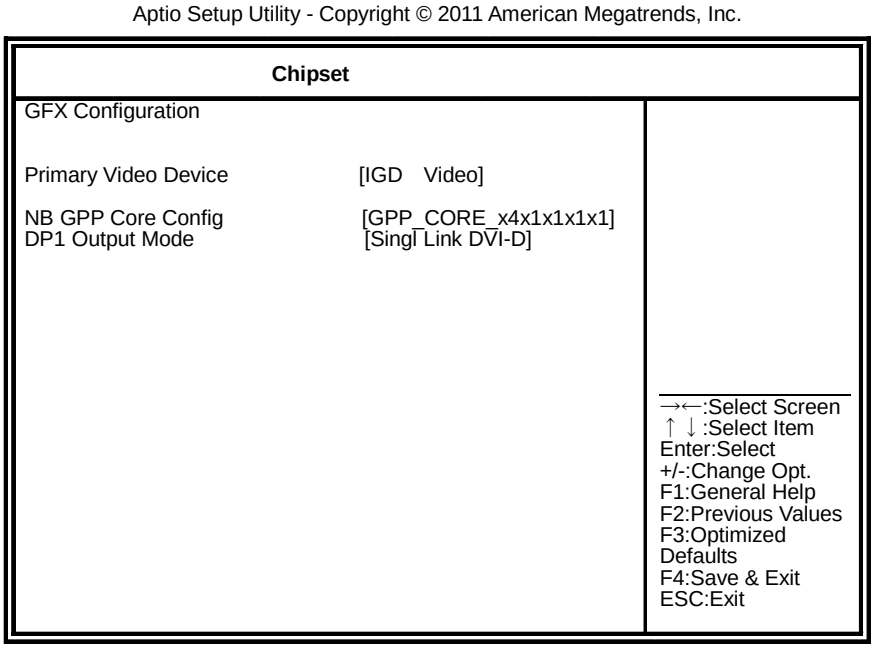
North Bridgeチップセットを構成できます。



項目	説明
Node 0 Information	実装しているメモリ情報を確認できます。

図10.11　North Bridgeメニューの表示項目

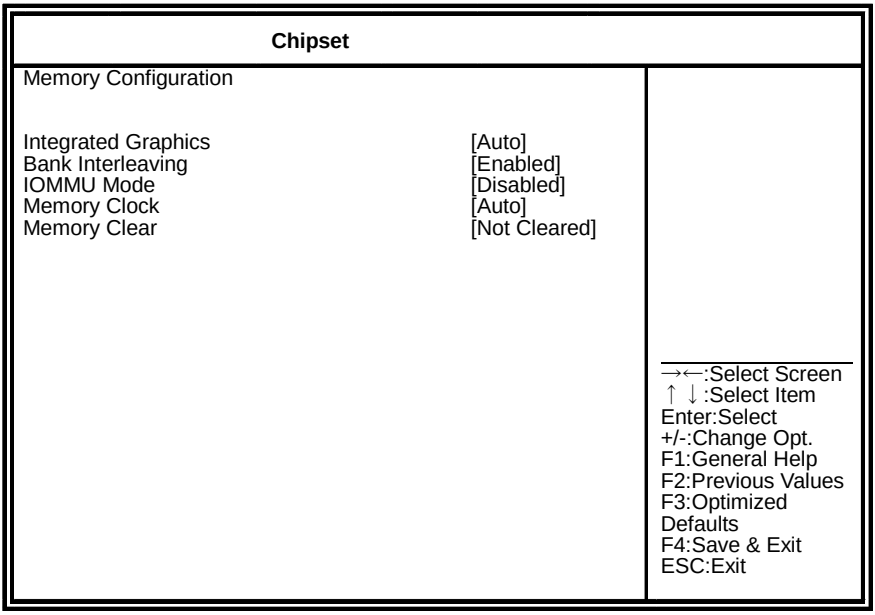
◆GFX Configuration



項目	説明
Primary Video Device	BIOS画面を表示するときの優先グラフィックを設定します。

図10.12　GFX Configurationメニューの表示項目

◆Memory Configuration



項目	説明
Integrated Graphics	内蔵グラフィックコントローラを有効にします。
IOMMU Mode	LINUXベースのシステムでサポートされ、32bit I/Oを64bit MMIOに変換します。

図10.13　Memory Configurationメニューの表示項目

◆South Bridge

South Bridgeチップセットを構成できます。

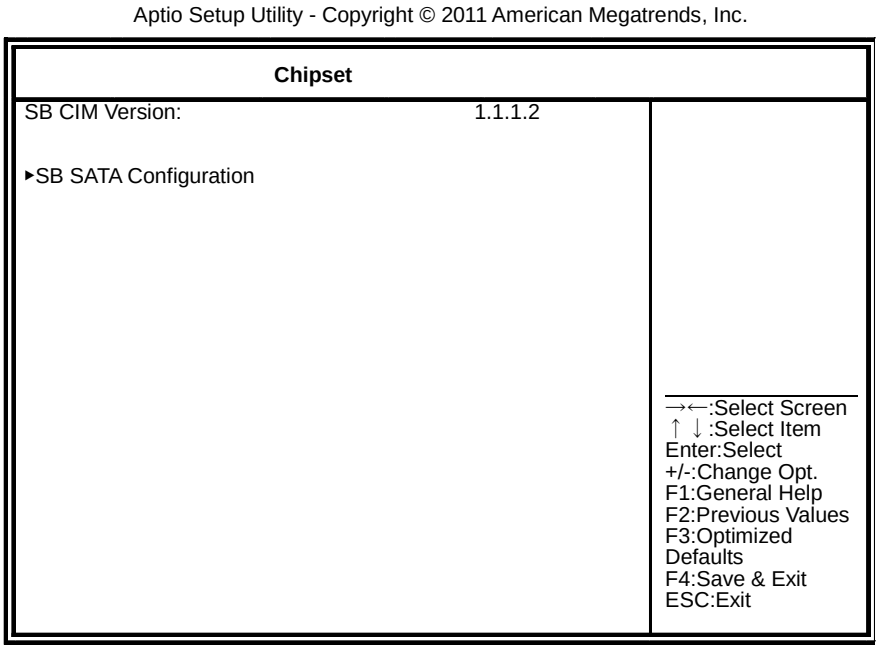


図10.14　South Bridgeメニューの表示項目

◆SB SATA Configuration

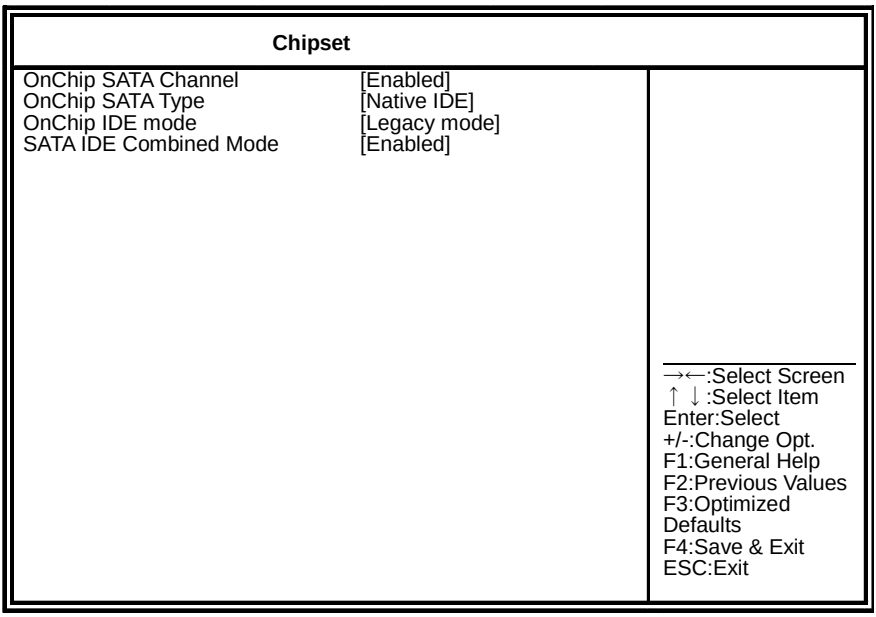
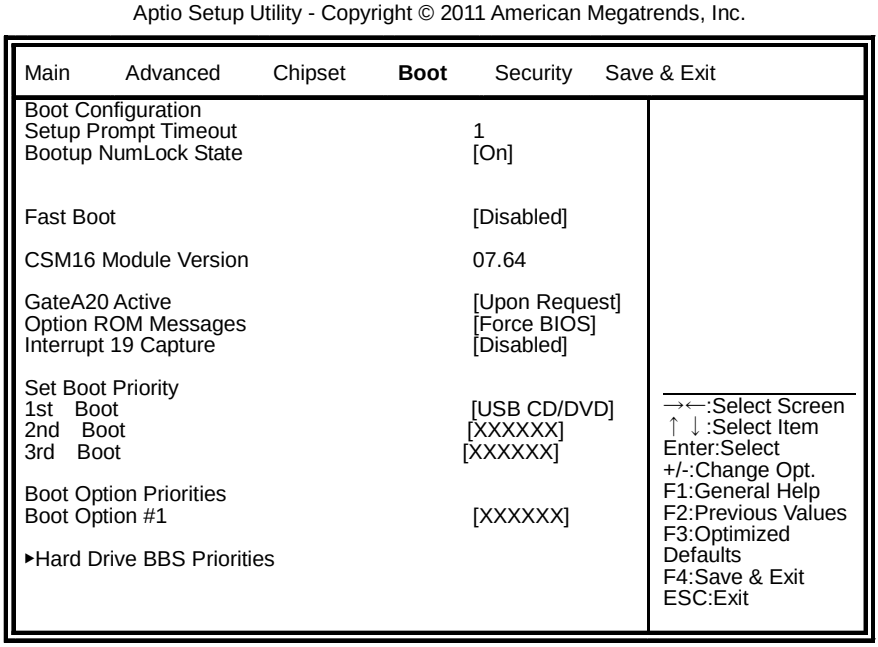


図10.15　SB SATA Configurationメニューの表示項目

◆Boot

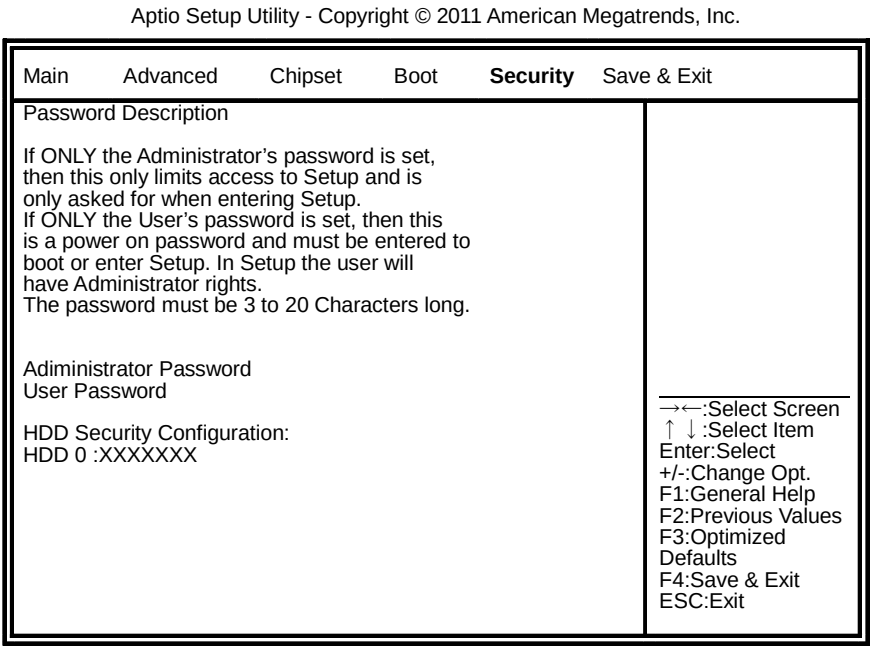
要求に合わせ、ブート設定を行うことができます。



項目	説明
Setup Prompt Timeout	セットアップアクティベーションキーを待つ秒数を設定できます。65535(0xFFFF)は無期限に待つことを表します。
Bootup NumLock State	キーボードのNumLock状態が設定できます。
Fast Boot	Fast Bootオプションの有効/無効が選択できます。
GateA20 Active	UPON REQUESTを選択すると、BIOSサービスを使用してGA20を無効にすることができます。ALWAYSを選択すると、GA20の無効を許可しません：このオプションは、あらゆるRTコードが1MB以上で実行される場合に使用可能です。
Option ROM Messages	オプションROMのための表示モードを設定できます。Force BIOSとKeep Currentが選択できます。
Interrupt 19 Canture	Enableを選択することにより、オプションROMはInt19に割り込みをかけることができます。

図10.16　Bootメニューの表示項目

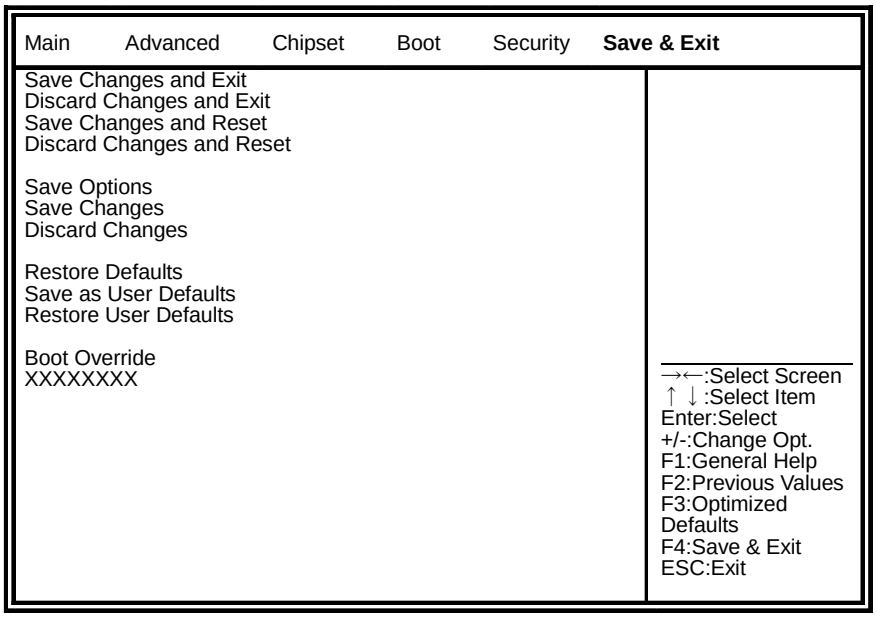
Security


Aptio Setup Utility - Copyright © 2011 American Megatrends, Inc.
Main Advanced Chipset Boot Security Save & Exit
Password Description
If ONLY the Administrator's password is set, then this only limits access to Setup and is only asked for when entering Setup.
If ONLY the User's password is set, then this is a power on password and must be entered to boot or enter Setup. In Setup the user will have Administrator rights.
The password must be 3 to 20 Characters long.
Adiministrator Password
User Password
HDD Security Configuration:
HDD 0 :XXXXXXX
→←:Select Screen
↑ ↓:Select Item
Enter:Select
+/-:Change Opt.
F1:General Help
F2:Previous Values
F3:Optimized Defaults
F4:Save & Exit
ESC:Exit

項目	説明
Administrator Password	Administrator Passwordを設定することができます。
User Password	User Passwordを設定することができます。

図10.17　Securityメニューの表示項目

Save & Exit



項目	説明
Save Changes and Exit	変更を保存した後、セットアップを終了します。
Disacard Changes and Exit	変更は保存せず、セットアップを終了します。
Save Changes and Reset	変更を保存した後、システムをリセットします。
Discard Changes and Reset	変更は保存せず、システムをリセットします。
Save Changes	あらゆるセットアップ項目に関して実施された変更点を保存します。
Discard Changes	あらゆるセットアップ項目に関して実施された変更点を破棄します。
Restore Defaults	全てのセットアップ項目についてデフォルト値をロードします。
Save as User Defaults	全ての変更点についてUser Defaultsとして保存します。
Restore User Defaults	全てのセットアップ項目についてUser Defaultsをロードします。

図10.18　Save & Exitメニューの表示項目

第１１章 付録

電池

■電池仕様

本製品に使用している電池は下記になります。

・品種　　：リチウム1次電池
・型式　　：BR-2032
・メーカ　　：パナソニック
・公称電圧　　：3V
・公称容量　　：200mAh
・リチウム含有量　：1g以下

■電池の取り外し

下記記載を参照し、電池を取り外します。

(1) PCの蓋を外し、アンテナブラケットを取り外してください。

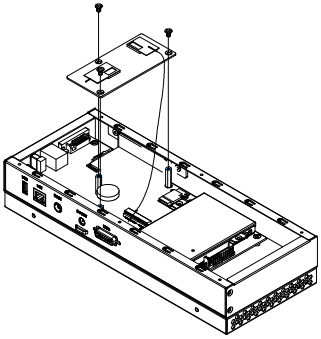


図11.1　電池の取り外し

(2) 下記を参照し、電池ホルダーから電池を取り外します。

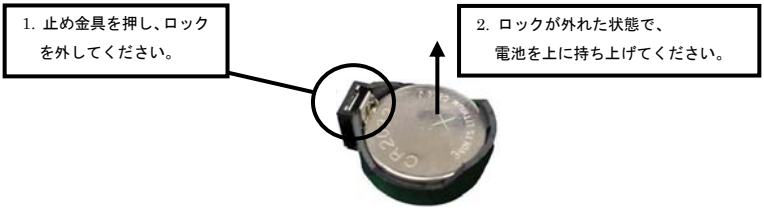


図11.2　電池の取り外し2

■電池の破棄

取り外したバッテリを廃棄される場合には自治体の指示に従って適切に廃棄してください。

DIT-2000シリーズ
ユーザーズマニュアル

発行　株式会社コンテック　　2014年4月制定

大阪市西淀川区姫里3-9-31　〒555-0025
日本語　http://www.contec.co.jp/
英語　http://www.contec.com/
中国語　http://www.contec.com.cn/

本製品および本書は著作権法によって保護されていますので無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

[04112014]　　分類番号　NA02590
部品コード　LYQF621